

『中学社会 地理的分野』

学習指導計画作成資料

■地理的分野 目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

	(1)	(2)	(3)
目標	我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	日本や世界の地域に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深める。

(中学校学習指導要領 P. 41 ~ 42)

■地理的分野 評価の観点及びその趣旨

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	日本や世界の地域に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

(平成 31 年 3 月 29 日付け 30 文科初第 1845 号「小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について（通知）」の「〔別紙 4〕各教科等・各学年等の評価の観点等及びその趣旨」P. 4 引用)

※地理的分野の学習指導要領の目標をふまえ、観点別学習状況の評価の対象とするものについて整理した表です。

■年間指導計画案

累計 時数	学習内容	学習目標	評価規準
1	持続可能な社会と私たち (教科書巻頭1-2) 地理的な見方・考え方 って？ (教科書巻頭3-4)	○地理学習を進めていくな かで、「持続可能な社会」 の観点から地域の課題を とらえていくことが重要 であることを確認する。 ○社会的な事象を地理的に とらえる際に、五つの見 方・考え方を生かすこと が有効であることを理解 する。	知識・技能 持続可能性と五つの見方・考え 方をこれからの学習の上で意識して いくことを理解している。 主体的に学習に取り組む態度 1年間の授業に先立って、地理的 な見方・考え方を働かせる地理学習 に向けての期待を抱き、授業への意 欲を高めている。

第1編 世界と日本の地域構成

第1編の目標	
<p>○世界と日本の地域構成を大観し、理解する。</p> <p>○世界と日本の地域構成の特色を多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>○世界と日本の地域構成を意欲的に追究するとともに、第1編の学習を振り返り、自身の学習状況や達成度を適切に自己評価しようとする態度を養う。</p> <p>【第1編の問い】 世界や日本はどのような姿をしているのでしょうか。</p>	
第1編の評価規準	<p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界と日本の地域構成を大観するために必要な概念を理解し、身に付けている。 様々な資料から、世界と日本の地域構成についての情報を適切に読み取っている。 <p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界と日本の地域構成の特色を、文章や略地図などで適切に表現している。 <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> 編の問いを立てる活動を通して、世界と日本の地域構成の学習について見通しをもって取り組もうとしている。 世界と日本の地域構成の学習を振り返りながら自身の学習状況や達成度を適切に自己評価し、世界と日本の地域構成を主体的に追究しようとしている。

第1節 世界の地域構成

学習指導要領の内容：A（1）

第1節の目標	
<p>○世界の地域構成を大観し、大陸と海洋の分布、地域区分、緯度・経度の概念、地球儀と地図の特色と違いなどを理解する。</p> <p>○世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や、主な国の位置、緯度や経度などに着目して考察し、表現する。</p> <p>○世界の地域構成を意欲的に追究するとともに、第1編第1節の学習を振り返り、自身の学習状況や達成度を適切に自己評価しようとする態度を養う。</p>	
第1節の評価規準	<p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 大陸と海洋の分布、地域区分、緯度・経度の概念、地球儀と地図の特色などを理解し、その知識を身に付けている。 様々な資料から、世界の地域構成についての情報を適切に読み取っている。 <p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界の地域構成を、大陸と海洋の分布、主な国の名称と位置、緯度・経度などから考察し、その過程や結果を文章や略地図などに適切に表現している。

- ・州や州を幾つかに区分した地域区分をもとに世界を大観し、その過程や結果を適切に表現している。

主体的に学習に取り組む態度

- ・世界の地域構成の学習について見通しをもって取り組もうとしている。
- ・世界の地域構成の学習を振り返りながら自身の学習状況や達成度を適切に自己評価し、世界の地域構成を主体的に追究しようとしている。

※評価規準の★は「評定に用いる評価」で、それ以外は「学習改善につなげる評価」を示します。

累計 時数	学習内容	学習目標	評価規準
2	【学習のはじめに】写真を通して世界と日本の姿をながめよう (教科書 P. 2-3)	○世界の国や日本の都道府県に関して既習の知識を整理し、その名称と位置を説明する。 ○多くの国や都道府県がある世界や日本の地域構成について、意欲的に学習に取り組む。	知識・技能 世界の主な国々や日本の都道府県の名称と位置に関して既習の知識を整理している。 主体的に学習に取り組む態度★ 世界や日本の地域構成について、見通しをもって意欲的に学習に取り組もうとしている。
3	1 地球の姿をながめよう (教科書 P. 4-5) ・六大陸と三大洋 ・六つの州に分けられる世界	○地球の大陸と海洋の名称と位置関係を、球面(地球儀)や平面(地図)上で把握する。 ○世界の六つの州の名称と位置関係を把握し、大陸と海洋の名称を用いて説明する。	知識・技能★ 地球儀や世界地図で、六大陸と三大洋の名称と位置を理解している。 思考・判断・表現 世界の六つの州の名称と位置を、六大陸と三大洋の名称を用いて説明している。
4	2 主な国々の名前と位置をとらえよう(1) (教科書 P. 6-7) ・国名からみた世界の国々 ・国旗からみた世界の国々	○世界の国々の国名や国旗の由来を通して、世界の主な国々の名称と位置を把握する。 ○似ている国名や国旗をもつ国に着目し、その国々の位置関係や歴史的背景を考察する。	知識・技能★ 世界の国々の国名や国旗の由来を通して、世界の主な国々の名称と位置を理解している。 思考・判断・表現 似ている国名や国旗をもつ国々の位置関係の特色や歴史的背景を考察している。
5	3 主な国々の名前と位置をとらえよう(2) (教科書 P. 8-9) ・国境からみた世界の国々 ・人口と面積からみた世界の国々 ・日本とつながりが深い世界の国々	○地図や資料を活用し、国境や人口・面積の観点から特色のある国々を見つけ、主な国々の名称と位置をとらえる。 ○島国と内陸国に着目し、それらの国々の国境の特色について考察する。	知識・技能 国境や人口・面積の観点から特色のある国々を見つけ、主な国々の名称と位置を理解している。 思考・判断・表現 島国と内陸国の国境の特色について考察している。
6	4 緯度と経度のしくみをとらえよう (教科書 P. 10-11) ・緯度・経度のしくみ	○緯度・経度やそれを読み取るための緯線・経線、赤道・本初子午線などの意味を理解する。 ○緯度・経度を用いて、地球上の様々な国や都市の位置を表す。	知識・技能 緯線・経線の意味を理解し、緯度・経度を読み取って地球上の位置を特定している。 思考・判断・表現★ 地球上の様々な場所を、緯度・経度を用いて説明している。

7	<p>5 地球儀と世界地図から世界をとらえよう (教科書P. 12-13)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地球儀と世界地図 地図の図法と使いみちを知る 	<ul style="list-style-type: none"> 地球儀と世界地図の違いをとらえ、世界地図の主な図法ごとに大陸などの形・面積や方位などの情報を適切に読み取り、それぞれの図法の長所・短所を説明する。 地球儀や世界地図の主な図法の特徴をふまえ、目的に応じた地図を選択して適切な方法で表現する。 	<p>知識・技能 地球儀や世界地図の主な図法による大陸などの見え方の違いや、それぞれの図法の長所・短所について理解している。</p> <p>思考・判断・表現 地球儀や世界地図の主な図法の特徴から、目的に応じた地図を選択して適切な方法で表現している。</p>
---	---	--	--

第2節 日本の地域構成

学習指導要領の内容：A（1）

第2節の目標	
	<ul style="list-style-type: none"> 地図を活用して、世界的視野から国土の位置や領域の特徴を理解するとともに、日本の領域をめぐる問題や日本の様々な地域区分、県の名称と位置、県庁所在地の名称を理解する。 日本の地域構成の特徴を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現する。 日本の地域構成を意欲的に追究するとともに、第1編第2節の学習を振り返り、自身の学習状況や達成度を適切に自己評価しようとする態度を養う。
第2節の評価規準	<p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の国土の位置、世界各地との時差、領域をめぐる問題、県の名称と位置、県庁所在地の名称、地域区分などを理解し、その知識を身に付けている。 様々な資料から、日本の地域構成についての情報を適切に読み取っている。 <p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の地域構成を、国土の位置、世界各地との時差、領域をめぐる問題、地域区分などから考察し、その過程や結果を文章や図版で適切に表現している。 7地方区分や日本を幾つかに区分した地域区分をもとに日本を大観し、その過程や結果を適切に表現している。 <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の地域構成の学習について見通しをもって取り組もうとしている。 日本の地域構成の学習を振り返りながら自身の学習状況や達成度を適切に自己評価し、日本の地域構成を主体的に追究しようとしている。

※評価規準の★は「評定に用いる評価」で、それ以外は「学習改善につなげる評価」を示します。

累計 時数	学習内容	学習目標	評価規準
8	<p>1 日本の位置をとらえよう (教科書P. 14-15)</p> <ul style="list-style-type: none"> 緯度・経度からみた日本の位置 ほかの国からみた日本の位置 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の位置の表し方には様々な方法があることを理解する。 日本の位置を、地球儀や世界地図を用いて、絶対的位置や相対的位置など様々な方法で表現する。 	<p>知識・技能 世界的な視野から見た日本の位置を理解している。</p> <p>思考・判断・表現★ 世界のなかでの日本の位置を、地球儀や世界地図を用いて、絶対的位置や相対的位置で表現している。</p>
9	<p>2 日本と世界各地との時差をとらえよう (教科書P. 16-17)</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界各地の標準時 	<ul style="list-style-type: none"> 標準時・時差の仕組みを理解し、等時帯を示す地図を正しく読み取る。 標準時・時差の仕組みか 	<p>知識・技能★ 標準時・時差の仕組みを理解し、日本と世界各地の時差を、等時帯を示す地図から正しく読み取っている。</p>

	・時差のしくみを知る	ら、地球上における日本と世界各地との位置関係をとらえる。	思考・判断・表現 世界各地で標準時が決められている理由や時差を知ることがどんな時に役立つのかについて、国際化した生活場面と関連付けてとらえている。
10	3 日本の領域の特色をとらえよう (教科書 P. 18-19) ・日本の領域をとらえる ・日本の海の国境	○領土・領海・領空・排他的経済水域の定義や、日本の領域の特色に関する基礎的事項を理解する。 ○日本の領域についての思考を深め、海洋国家である日本の領域の特色を表現する。	知識・技能 領土・領海・領空・排他的経済水域の定義を理解し、日本の領域の特色を理解している。 思考・判断・表現 日本の領域の特色を日本が海洋国家であることと関連付けて考察し、的確に説明している。
11	4 日本の領域をめぐる問題をとらえよう (教科書 P. 20-21) ・北方領土 ・竹島 ・領土問題の解決に向けて ・尖閣諸島をとりまく情勢	○日本の領域をめぐる問題を、歴史的経緯もふまえて理解する。 ○日本の領域をめぐる問題について、日本や近隣諸国との関係をふまえて、解決に向けてどのような方策がとられてきたかを説明する。	知識・技能 日本固有の領土である北方領土と竹島の問題について、その現状と我が国の主張、ロシア・韓国の対応について理解している。 思考・判断・表現 日本の領域をめぐる問題を多面的・多角的にとらえながら、解決に向けて今までとられてきた方策を説明している。
12	5 日本の都道府県と7地方区分をとらえよう (教科書 P. 22-23) ・都道府県と県庁所在地 ・日本の地域区分をとらえる	○都道府県の名称と位置、県庁所在地の名称を、地図を活用して確実に身に付ける。 ○都道府県の変化や都道府県名の由来、県庁所在地名の由来などの歴史的背景を説明する。	知識・技能★ 都道府県の名称と位置、県庁所在地の名称を地図上で確実に理解している。 思考・判断・表現 都道府県の変化や都道府県名の由来、県庁所在地名の由来などの歴史的背景を説明している。
13	【まとめと振り返り】世界と日本の紹介ポスターを作ろう (教科書 P. 24-25)	○世界と日本の地域構成の特色を多面的・多角的に考察し、ポスターを作成して表現する。 ○単元全体の自己の学習を振り返り、学習状況や達成度を適切に自己評価し、今後の学習や生活に生かそうとする。	思考・判断・表現★ 世界と日本の地域構成の特色を、文章や略地図などで適切に表現している。 主体的に学習に取り組む態度★ 世界と日本の地域構成における自己の学習の経過を振り返り、学習状況や達成度を適切に自己評価し、今後の学習や生活に生かそうとしている。

第2編 世界のさまざまな地域

第1章 世界各地の人々の生活と環境

学習指導要領の内容：B（1）

第1章の目標

- 世界の気候・宗教の分布を大観し、世界各地の人々の生活や環境の多様性を理解する。
- 世界各地の人々の生活の様子とその変容を、自然的条件や社会的条件と関連付けて考察する。
- 世界各地の人々の生活と環境を意欲的に追究するとともに、第2編第1章の学習を振り返り、自身の学習状況や達成度を適切に自己評価しようとする態度を養う。

【第2編第1章の問い】

世界各地の人々の生活は、なぜ場所によって異なるのでしょうか。

第1章の 評価規準	<p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界各地の人々の生活の様子とその変容や環境の多様性を、自然的条件や社会的条件と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。 世界には様々な宗教があることや、世界の主な宗教の分布について理解し、その知識を身に付けている。 <p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界各地の人々の生活の様子とその変容や環境の多様性を、自然的条件や社会的条件と関連付けて考察し、その過程や結果を適切に表現している。 過去と現在の生活を比較して、人々の生活がどのように変容したかについて考察し、その過程や結果を適切に表現している。 <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> 章の問いを立てる活動を通して、世界各地の人々の生活と環境の学習について見通しをもって取り組もうとしている。 世界各地の人々の生活と環境の学習を振り返りながら自身の学習状況や達成度を適切に自己評価し、世界各地の人々の生活と環境を主体的に追究しようとしている。
--------------	--

※評価規準の★は「評定に用いる評価」で、それ以外は「学習改善につなげる評価」を示します。

累計 時数	学習内容	学習目標	評価規準
14	【学習のはじめに】写真を 通して世界各地の地域の 特色を読み取ろう (教科書 P. 26-27)	<ul style="list-style-type: none"> ○写真からその地域の気候やそこに住む人々の生活を推測する。 ○世界各地の人々の生活と環境について見通しをもって学習に取り組もうとする態度を養う。 	<p>知識・技能</p> <p>1枚の写真から、また、複数の写真を比較することによって、世界各地の自然環境の様子や人々の生活などの特色を読み取っている。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度★</p> <p>世界各地の自然環境と人々の生活の関係について説明できることを目標に、見通しや興味をもって学習に取り組んでいる。</p>
15	1 世界のさまざまな気候 (教科書 P. 28-29) ・世界の気候のちがいがい ・世界の気候区分	<ul style="list-style-type: none"> ○世界の気候と気候区について、気温と降水量の違いから区分できることと、雨温図の読み取り方を理解する。 ○気候区分を示した地図と各気候帯の写真をもとに、各気候区の特徴について、気温や降水量、植生、緯度、標高などと関連づけて考察し、説明する。 	<p>知識・技能★</p> <p>緯度や雨温図、世界の気候区分や写真などの資料から、世界各地の気候帯や気候区の特徴を理解している。</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>資料から、どの地域にどの気候帯や気候区が広がっているのかについてその特色をふまえて説明している。</p>
16	2 暑い地域に生きる人々 ーマレーシアを例にー (教科書 P. 30-31) ・森で生きる人々の生活 ・変わりゆく生き方	<ul style="list-style-type: none"> ○暑い地域の自然環境とそこで生活する人々の工夫や経済発展、近代化などに伴う生活の変化について考察する。 ○新旧の写真を比較し、人々の生活の変化を読み取るとともに、住居の写真や 	<p>知識・技能</p> <p>雨温図、世界の気候区分や写真などの資料から、暑い地域の特色やそこに暮らす人々の生活の変化について理解している。</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>暑い地域の気候的特色やそこで暮らす人々の生活の変化を説明している。</p>

		雨温図、気候帯の分布図から、暑い地域の特色を気温や降水量、植生、緯度などと関連づけて説明する。	
17	3 乾燥地域に生きる人々－モンゴルを例に－ (教科書 P. 32-33) ・モンゴルでの遊牧 ・家畜のめぐみ ・遊牧民の生活の変化	○乾燥地域の自然環境とそこで生活する人々の工夫や、経済発展、近代化などに伴う生活の変化について考察する。 ○写真や雨温図、気候帯の分布図から、乾燥地域の特色を気温や降水量、植生、緯度などと関連づけて説明する。	知識・技能 雨温図、世界の気候区分や写真などの資料から、乾燥地域の特色やそこに暮らす人々の生活の変化について理解している。 思考・判断・表現 乾燥地域の気候的特色やそこで暮らす人々の生活の変化を説明している。
18	4 温暖な地域に生きる人々－イタリアを例に－ (教科書 P. 34-35) ・イタリアの気候と農業 ・イタリアの街の生活 ・変化する食生活と家族	○写真や雨温図などの資料を適切に読み取り、温暖な地域における人々の生活の特色を理解する。 ○温暖な地域における人々の生活の特色や変化の理由を、日本の特色と比較しながら考察し、表現する。	知識・技能 雨温図、世界の気候区分や写真などの資料から、温暖な地域における人々の生活の特色を理解している。 思考・判断・表現 温暖な地域における人々の生活の特色や変化の理由を、日本の特色と比較しながら考察し、表現している。
19	5 寒い地域に生きる人々－北アメリカ北部を例に－ (教科書 P. 36-37) ・ツンドラ地域に住む人々の生活 ・変化する生活	○写真や雨温図などの資料を適切に読み取り、寒い地域における人々の生活の特色を理解する。 ○寒い地域における人々の生活の特色や変化の理由を、資料から読み取ったことと関連付けて考察し、表現する。	知識・技能 雨温図、世界の気候区分や写真などの資料から、寒い地域における人々の生活の特色を理解している。 思考・判断・表現 寒い地域における人々の生活の特色や変化の理由を、資料から読み取ったことと関連付けて考察し、表現している。
20	6 高地に生きる人々－アンデスを例に－ (教科書 P. 38-39) ・アンデス山脈付近の生活 ・急速な生活の変化	○写真や雨温図などの資料を適切に読み取り、高地における人々の生活の特色を理解する。 ○高地における人々の生活の特色や変化の理由を、資料から読み取ったことと関連付けて考察し、表現する。	知識・技能 雨温図、世界の気候区分や写真などの資料から、高地における人々の生活の特色を理解している。 思考・判断・表現 高地における人々の生活の特色や変化の理由を、資料から読み取ったことと関連付けて考察し、表現している。
21	7 さまざまな宗教と人々の生活 (教科書 P. 40-41) ・世界の三大宗教 ・人々の生活に結びつく宗教	○世界の宗教の分布、宗教と人々の生活の特色を理解する。 ○世界の宗教と人々の生活とのつながりや、社会の変化によって宗教が変容していることを、社会的条件と関連付けて考察し、表現する。	知識・技能 世界の宗教の分布、宗教と人々の生活の特色を理解している。 思考・判断・表現 世界の宗教と人々の生活とのつながりや、社会の変化によって宗教が変容していることを、社会的条件と関連付けて考察し、表現している。

22	【まとめとふり返り】「気候推理ゲーム」をしよう (教科書P. 42-43)	○世界各地の人々の生活と環境に関する特色・課題を多面的・多角的に考察し、表現する。 ○単元全体の自己の学習を振り返り、学習状況や達成度を適切に自己評価し、今後の学習や生活に生かそうとする。	思考・判断・表現★ 世界各地の人々の生活と環境に関する特色・課題を多面的・多角的に考察し、表現している。 主体的に学習に取り組む態度★ 世界各地の人々の生活と環境における自己の学習の経過を振り返り、学習状況や達成度を適切に自己評価し、今後の学習や生活に生かそうとしている。
----	--	---	---

第2章 世界の諸地域

第2章の目標	
	<p>○世界の各州に設定した主題をもとに、様々な事象を有機的に関連付けて追究し、各州の地域的特色や地球的課題を理解するとともに、地図・グラフ・写真などの資料から地理的事象を効果的に調べまとめる技能を身に付ける。</p> <p>○世界の各州に設定した主題をもとに、地図・グラフ・写真などの資料を活用し、地理的な見方・考え方を働かせ、各州の地域的特色や地球的課題を多面的・多角的に考察したり、思考したことを説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。</p> <p>○世界の各州の地域的特色について、そこでみられる地球的課題を主体的に追究、解決しようとするとともに、各州の学習を振り返り、自身の学習状況や達成度を適切に自己評価しようとする態度を養う。</p> <p>【第2編第2章の問い】 世界の六つの州の地域的特色をとらえ、地球的課題の解決策を考えましょう。</p>
第2章の評価規準	<p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界の各州に設定した主題をもとに、地図・グラフ・写真などの資料から、各州の地域的特色や地球的課題を適切に読み取り、分析している。 世界の各州に設定した主題をもとに、各州の地域的特色や地球的課題を理解し、その知識を身に付けている。 <p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界の各州に設定した主題をもとに、地理的な見方・考え方を働かせ、各州の地域的特色や地球的課題を多面的・多角的に考察している。 世界の各州に設定した主題をもとに、各州の地域的特色や地球的課題を考察した過程や結果を図や文章などに適切に表現し、それらをもとに議論している。 <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界の各州を大観し節の問いを立てる活動を通して、各州の学習について見通しをもって取り組もうとしている。 世界の各州の学習を振り返りながら自身の学習状況や達成度を適切に自己評価し、各州の地域的特色や地球的課題を主体的に追究、解決しようとしている。

※第2編第2章の「まとめとふり返り」は、6州のうち3州で、各1時間を配当して行うことを想定しています。

第1節 アジア州—人口や経済発展をテーマに—

学習指導要領の内容：B（2）

第1節の目標	
	<p>○「人口や経済発展」を主題として、様々な事象を有機的に関連付けて追究し、アジア州の地域的特色や地球的課題を理解するとともに、地図・グラフ・写真などの資料から地理的事象を効果的に調べまとめる技能を身に付ける。</p> <p>○「人口や経済発展」を主題として、地図・グラフ・写真などの資料を活用し、地理的な見方・考え方を働かせ、アジア州の地域的特色や地球的課題を多面的・多角的に考察したり、思考したことを説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。</p>

○アジア州の地域的特色について、そこでみられる地球的課題を主体的に追究、解決しようとするとともに、アジア州の学習を振り返り、自身の学習状況や達成度を適切に自己評価しようとする態度を養う。

【第1節の問い】

アジアの国々は、どのように経済発展しているのでしょうか。

第1節の評価規準

知識・技能

- ・「人口や経済発展」を主題として、地図・グラフ・写真などの資料から、アジア州の地域的特色や地球的課題を適切に読み取り、分析している。
- ・「人口や経済発展」を主題として、アジア州の地域的特色や地球的課題を理解し、その知識を身に付けている。

思考・判断・表現

- ・「人口や経済発展」を主題として、地理的な見方・考え方を働かせ、アジア州の地域的特色や地球的課題を多面的・多角的に考察している。
- ・「人口や経済発展」を主題として、アジア州の地域的特色や地球的課題を考察した過程や結果を図や文章などに適切に表現し、それらをもとに議論している。

主体的に学習に取り組む態度

- ・アジア州を大観し節の問いを立てる活動を通して、アジア州の学習について見通しをもって取り組もうとしている。
- ・アジア州の学習を振り返りながら自身の学習状況や達成度を適切に自己評価し、アジア州の地域的特色や地球的課題を主体的に追究、解決しようとしている。

※評価規準の★は「評定に用いる評価」で、それ以外は「学習改善につなげる評価」を示します。

累計時数	学習内容	学習目標	評価規準
23 24 25 26 27	写真で見るアジア州 (教科書 P. 46-47) 1 アジアの自然環境と人々のかかわり (教科書 P. 48-49) ・変化に富む自然環境 ・巨大な人口と多様な文化 ・盛んな農業と工業化による経済発展	○アジア州の多様な自然環境について、基本的知識と資料を読み取る技能を身に付ける。 ○巨大な人口を支える食料生産と食文化の関係を理解し、地形と人口分布の関連や、それぞれの地域で営まれる人々の生活の自然的背景を資料から読み取る。	知識・技能★ 地図・写真・グラフなどを活用し、アジア州の地形や気候の特色を理解している。 思考・判断・表現 写真や資料からアジア州のどのような場所に人口が集中しているのかを読み取り、その理由を簡潔に説明している。
	【持続可能な地域をめざして】 未来都市シェンチェンの発展 【節の問いを立てよう】 アジア州 (教科書 P. 50-51)	○二つのグラフから、アジア州の国々に人口が多い国、工業が盛んな国が多いことを読み取り、その理由を考える。 ○アジア州の地域的特色について、見通しをもって学習に取り組もうとし、課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	知識・技能 二つのグラフを読み取り、人口が多い国や工業が盛んな国がアジア州に多いことを読み取り、理解している。 主体的に学習に取り組む態度★ アジア州の地域的特色について、見通しをもって学習に取り組もうとし、課題を主体的に追究しようとしている。
	2 世界への輸出による経済発展－東アジア－ (教科書 P. 52-53) ・東アジアの工業化と経済発展	○資料を読み取り、東アジア、特に中国の地球的課題について、基本的知識と資料を読み取る技能を身に付ける。	知識・技能★ 東アジアの地球的課題について、基本的知識と資料を読み取る技能が身に付いている。 思考・判断・表現

<ul style="list-style-type: none"> ・ 経済が発展した韓国と台湾 ・ 急速に成長した中国の工業 ・ 経済発展にともなう中国の課題 	<ul style="list-style-type: none"> ○なぜ東アジアの国々が経済発展に成功したのか、地域どうしのつながりに注目しながら説明する。 	<p>なぜ東アジアの国々が経済発展に成功したのか、地域どうしのつながりに注目しながら説明している。</p>
<p>3 工業化や地域統合による経済発展－東南アジア－ (教科書 P. 54-55)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東南アジアの農業・漁業 ・ 各国の経済発展と都市化による課題 ・ 国々が協力して発展する東南アジア 	<ul style="list-style-type: none"> ○東南アジアの農業・工業について、基本的な知識と資料を読み取る技能を身に付ける。 ○国家間の協力や結びつきを強める利点について説明する。 	<p>知識・技能 東南アジアの農業・工業の概要について、基本的な知識と資料を読み取る技能が身に付いている。</p> <p>思考・判断・表現 国家間の協力や結びつきを強める利点について説明している。</p>
<p>4 人口増加と産業の変化による経済発展－南アジア－ (教科書 P. 56-57)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な農業と人口の増加 ・ 南アジアの経済発展 ・ 経済発展にともなうインドの課題 	<ul style="list-style-type: none"> ○南アジアの産業・宗教や歴史的背景について基本的な知識と資料を読み取る技能を身に付ける。 ○南アジア、特にインドの発展の要因を、他地域との結びつきから説明する。 	<p>知識・技能 南アジアの産業や、宗教、歴史的背景について基本的な知識と資料を読み取る技能が身に付いている。</p> <p>思考・判断・表現★ 南アジア、特にインドのICT産業の発展の要因と、インドの抱える課題を多面的・多角的にとらえ、説明することができる。</p>
<p>5 豊富な資源を生かした経済発展－西アジア・中央アジア－ (教科書 P. 58-59)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 石油を生かして発展する西アジア ・ 鉱産資源の開発が進む中央アジア ・ イスラム教の影響が強い社会 ・ くり返される紛争 	<ul style="list-style-type: none"> ○西アジアの経済発展について理解し、石油などの鉱産資源の輸出が経済発展につながっていることに気付く。 ○石油の輸出で得た資金が、都市開発や教育の充実、観光業の発展につながっていることを考察し、文章で表現する。また、紛争の原因として石油と宗教を関連させて考察する。 	<p>知識・技能 西アジアと中央アジアでは石油をはじめとする様々な鉱産資源が産出することを理解し、その分布をおおまかに読み取ることができる。</p> <p>思考・判断・表現 西アジアの経済発展に由来する地域外への影響力と地域内の紛争について、的確に説明している。</p>
<p>【まとめと振り返り】アジア州の学習をまとめよう (教科書 P. 60-61)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○アジア州の国々が経済発展を続けている理由について、人口や地域どうしのつながりに着目しながら、自らの考察を説明している。 ○単元全体の自己の学習を振り返り、学習状況や達成度を適切に自己評価し、今後の学習や生活に生かそうとする。 	<p>思考・判断・表現★ フィッシュボーンチャートを活用し、アジア州の国々が経済発展を続けている理由について、人口や地域どうしのつながりに着目しながら、自分やグループの考えをまとめ、説明している。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度★ アジア州における自己の学習の経過を振り返り、学習状況や達成度を適切に自己評価し、今後の学習や生活に生かそうとしている。</p>

第2節の目標

- 「国境をこえた統合」を主題として、様々な事象を有機的に関連付けて追究し、ヨーロッパ州の地域的特色や地球的課題を理解するとともに、地図・グラフ・写真などの資料から地理的事象を効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
- 「国境をこえた統合」を主題として、地図・グラフ・写真などの資料を活用し、地理的な見方・考え方を働かせ、ヨーロッパ州の地域的特色や地球的課題を多面的・多角的に考察したり、思考したことを説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。
- ヨーロッパ州の地域的特色について、そこでみられる地球的課題を主体的に追究、解決しようとするとともに、ヨーロッパ州の学習を振り返り、自身の学習状況や達成度を適切に自己評価しようとする態度を養う。

【第2節の問い】

ヨーロッパでは、どのように統合が進められ、どのような課題があるのでしょうか。

第2節の評価規準

知識・技能

- ・「国境をこえた統合」を主題として、地図・グラフ・写真などの資料から、ヨーロッパ州の地域的特色や地球的課題を適切に読み取り、分析している。
- ・「国境をこえた統合」を主題として、ヨーロッパ州の地域的特色や地球的課題を理解し、その知識を身に付けている。

思考・判断・表現

- ・「国境をこえた統合」を主題として、地理的な見方・考え方を働かせ、ヨーロッパ州の地域的特色や地球的課題を多面的・多角的に考察している。
- ・「国境をこえた統合」を主題として、ヨーロッパ州の地域的特色や地球的課題を考察した過程や結果を図や文章などに適切に表現し、それらをもとに議論している。

主体的に学習に取り組む態度

- ・ヨーロッパ州を大観し節の問いを立てる活動を通して、ヨーロッパ州の学習について見通しをもって取り組もうとしている。
- ・ヨーロッパ州の学習を振り返りながら自身の学習状況や達成度を適切に自己評価し、ヨーロッパ州の地域的特色や地球的課題を主体的に追究、解決しようとしている。

※評価規準の★は「評定に用いる評価」で、それ以外は「学習改善につなげる評価」を示します。

累計時数	学習内容	学習目標	評価規準
28 29 30 31 32	写真で見るヨーロッパ州 (教科書 P. 62-63) 1 ヨーロッパの自然環境と人々のかかわり (教科書 P. 64-65) ・複雑な地形のヨーロッパ ・高緯度だが温暖で多様な気候 ・多くの国々があるヨーロッパ	○ヨーロッパ州の主な国の名称と位置を知り、アルプス山脈の北と南で異なる地形の特色を理解する。 ○ヨーロッパ州の気候の特色をとらえ、海流と偏西風の影響と関連付けて説明する。	知識・技能★ ヨーロッパ州の主な国の名称と位置やヨーロッパ州の基本的な地域的特色を理解している。 思考・判断・表現 ヨーロッパ州の自然環境の差異が人々の生活にどのような違いをもたらすかを考察し、説明している。
	【持続可能な地域をめざして】SDGsで世界をリードするヨーロッパ 【節の問いを立てよう】ヨーロッパ州 (教科書 P. 66-67)	○EUが重視する「欧州グリーン・ディール」の政策を知り、どのように社会構造を転換しようとしているか、新しい成長戦略のねらいを理解する。 ○EUの統合のメリットと	思考・判断・表現 EU統合のメリットとデメリットが人々の生活にどのような影響をもたらすかを考察し、問いを立てている。 主体的に学習に取り組む態度★ EUによる地域統合について、見通しをもって学習に取り組もうとし、

	デメリットを説明できるように、「なぜ」を用いた問いを立てる。	課題を追究しようとしている。
2 国境をこえた統合のあゆみ (教科書 P. 68-69) ・多様な民族と共通する文化 ・世界に例のない国境をこえた統合 ・国境を自由に行き来する EU 市民	○ヨーロッパ州の主な民族とキリスト教の分布を理解し、その関連に気付くとともに、ヨーロッパ州の文化がキリスト教と深く結びついていることに気付く。 ○第二次世界大戦後の歴史的背景に気付き、現時点での EU の概要を把握する。また、EU による統合がもたらしたメリットを理解する。	知識・技能★ ヨーロッパ州の主な宗教の分布や EU の成り立ち・拡大について理解している。 思考・判断・表現 統合を進める EU の理念や現状をアメリカや中国などと比較しながら、そのメリットを考えて簡潔に説明している。
3 統合のなかで発展する工業と農業 (教科書 P. 70-71) ・国境をこえた工業地域 ・気候によって異なる農業 ・農産物の自給と EU の役割	○ヨーロッパ州の工業では、国境をこえた協力が行われ、アメリカやアジア州の国々に対抗していることを理解する。 ○ヨーロッパ州では、自然環境に応じた特色ある農業が行われていることに気付く。また、EU の共通農業政策が各国の農業に大きな影響を与えていることを理解する。	知識・技能 ヨーロッパ州の工業と主な農業の特色を理解し、写真やイラストから最適化・分業化されていることを読み取っている。 思考・判断・表現★ 地域どうしのつながりに着目して、EU 加盟国の工業・農業の課題について説明している。
4 国境をこえるエネルギーと環境問題 (教科書 P. 72-73) ・環境問題に向き合ってきたヨーロッパ ・持続可能な社会をめざして ・原子力とパイプラインのはざまで	○持続可能な社会をめざし、経済的な豊かさだけでなく、都市の景観や商品の安全性・持続性が求められていることを理解する。 ○経済活動に必要な電力や資源・エネルギーについて、ヨーロッパ州の人々がどのような取り組みをしているかを把握する。	知識・技能 ヨーロッパ州での持続可能な社会につながる取り組みを理解し、環境についてどのような問題が起こっているかを読み取っている。 思考・判断・表現 持続可能な社会につながる取り組みを、自分たちの生活のなかからも見つけ出し、的確に説明している。
5 ゆれうごくヨーロッパの社会 (教科書 P. 74-75) ・豊かさを求めて移住する人々 ・EU 加盟国のあいだの格差と対立 ・加盟を求める国、脱退する国	○様々な背景をもった人々が、ヨーロッパ諸国に移り住み、多文化社会が形成されていることを理解する。 ○EU の統合が進むなかで、国家の主権を失う懸念をもつ国や、独立や自治権を求める運動、それを抑圧する問題などが起きていることを理解する。	知識・技能 EU の統合が進むことで、ヨーロッパ州の人々にとってメリットだけでなく、デメリットもあることを読み取っている。 思考・判断・表現★ EU 統合がもたらした変化と今後解決すべき課題を考察し、的確に説明している。

<p>【まとめとふり返し】ヨーロッパ州の学習をまとめよう (教科書 P. 76-77)</p>	<p>○EUの統合のメリットとデメリットを説明し、今後、統合がどのように推移するか、自分の考えを説明する。</p> <p>○単元全体の自己の学習を振り返り、学習状況や達成度を適切に自己評価し、今後の学習や生活に生かそうとする。</p>	<p>思考・判断・表現 EU統合のメリットとデメリットが人々の生活にどのような影響をもたらすかを考察し、今後解決すべき課題を的確に説明している。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度★ ヨーロッパ州における自己の学習の経過を振り返り、学習状況や達成度を適切に自己評価し、今後の学習や生活に生かそうとしている。</p>
---	---	--

第3節 アフリカ州－自立のための開発と国際協力をテーマに－

学習指導要領の内容：B（2）

第3節の目標	
<p>○「自立のための開発と国際協力」を主題として、様々な事象を有機的に関連付けて追究し、アフリカ州の地域的特色や地球的課題を理解するとともに、地図・グラフ・写真などの資料から地理的事象を効果的に調べまとめる技能を身に付ける。</p> <p>○「自立のための開発と国際協力」を主題として、地図・グラフ・写真などの資料を活用し、地理的な見方・考え方を働かせ、アフリカ州の地域的特色や地球的課題を多面的・多角的に考察したり、思考したことを説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。</p> <p>○アフリカ州の地域的特色について、そこでみられる地球的課題を主体的に追究、解決しようとするとともに、アフリカ州の学習を振り返り、自身の学習状況や達成度を適切に自己評価しようとする態度を養う。</p>	
<p>【第3節の問い】 アフリカの国々は、資源などにたよる経済をどのように克服しようとしているのでしょうか。</p>	
<p>第3節の評価規準</p>	<p>知識・技能 ・「自立のための開発と国際協力」を主題として、地図・グラフ・写真などの資料から、アフリカ州の地域的特色や地球的課題を適切に取り取り、分析している。</p> <p>・「自立のための開発と国際協力」を主題として、アフリカ州の地域的特色や地球的課題を理解し、その知識を身に付けている。</p> <p>思考・判断・表現 ・「自立のための開発と国際協力」を主題として、地理的な見方・考え方を働かせ、アフリカ州の地域的特色や地球的課題を多面的・多角的に考察している。</p> <p>・「自立のための開発と国際協力」を主題として、アフリカ州の地域的特色や地球的課題を考察した過程や結果を図や文章などに適切に表現し、それらをもとに議論している。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度 ・アフリカ州を大観し節の問いを立てる活動を通して、アフリカ州の学習について見通しをもつて取り組もうとしている。</p> <p>・アフリカ州の学習を振り返りながら自身の学習状況や達成度を適切に自己評価し、アフリカ州の地域的特色や地球的課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>

※評価規準の★は「評定に用いる評価」で、それ以外は「学習改善につなげる評価」を示します。

累計時数	学習内容	学習目標	評価規準
<p>33 34 35</p>	<p>写真で見るアフリカ州 (教科書 P. 78-79)</p> <p>1 アフリカの自然環境と人々のかかわり (教科書 P. 80-81)</p> <p>・台地と高原の大陸</p>	<p>○アフリカ州の地形や気候の特色、自給的農業の分布をとらえるとともに、ヨーロッパ諸国による植民地支配の影響が、民族間の対立、宗教や言語な</p>	<p>知識・技能★ アフリカ州の地形と気候の特色や農業の分布、ヨーロッパ諸国による植民地支配の影響を理解している。</p> <p>思考・判断・表現 アフリカ州の各地域における自給</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・対称的に分布する気候と農業 ・アフリカの歴史と南北で異なる文化 	<p>どの面で見られることを理解する。</p> <p>○アフリカ州の各地域における自給的農業の様子を、特に降水量との関係に着目して考察する。</p>	<p>的農業の様子を、降水量との関わりから考察している。</p>
<p>【持続可能な地域をめざして】アフリカの豊かな資源がもつ可能性</p> <p>【節の問いを立てよう】アフリカ州 (教科書 P. 82-83)</p>	<p>○節の問いを立てるとともに、その問いを追究し解決するために、アフリカ州に関わる「なぜ」を用いた問いを見出す。</p> <p>○節の問いを追究し解決するために、問いに対する答えの予想・見通しをもちながら、アフリカ州に関わる問いを見出す。</p>	<p>思考・判断・表現</p> <p>節の問いを追究し解決するために、アフリカ州に関わる「なぜ」を用いた問いを見出している。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度★</p> <p>節の問いを追究し解決するために問いに対する答えの予想・見通しをもちながら、アフリカ州に関わる問いを見出そうとしている。</p>
<p>2 農産物や鉱産資源の輸出にたよる経済 (教科書 P. 84-85)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輸出用の農産物の生産 ・豊富な鉱産資源の開発 ・モノカルチャー経済の克服をめざして 	<p>○アフリカ州の国々は、特定の農産物や鉱産資源の輸出に頼るモノカルチャー経済になっており、収入が不安定なために多様な産業が育ちにくいことを理解する。</p> <p>○アフリカ州の国々の輸出が、特定の農産物や鉱産資源に偏っている理由を、鉱産資源の分布や農産物に適した気候という自然的条件と、植民地支配の歴史という社会的条件から考える。</p>	<p>知識・技能★</p> <p>アフリカ州の国々がモノカルチャー経済になっており、収入が不安定で多様な産業が育ちにくいことを理解している。</p> <p>思考・判断・表現★</p> <p>アフリカ州の国々の輸出が、特定の農産物や鉱産資源に偏っている理由を、自然的条件と社会的条件から考えている。</p>
<p>3 社会の変化と国際協力 (教科書 P. 86-87)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い人々の多さと社会の変化 ・民主的な社会の実現に向けた課題 ・さまざまな国際協力の試み 	<p>○アフリカ州の国々が経済的に自立・発展できるよう、国連やアフリカ連合、先進国やN G Oなどが様々な取り組みを行っていることを理解する。</p> <p>○豊富な鉱産資源、生産年齢人口の多さなどの強みがあるにも関わらず経済的な自立・発展が進みにくい理由を、植民地支配に根ざす諸課題と関連付けて考える。</p>	<p>知識・技能</p> <p>アフリカ州の国々が経済的に自立・発展できるよう、様々な国際協力が行われていることを理解している。</p> <p>思考・判断・表現★</p> <p>アフリカ州の国々が強みをもちながらも経済的な自立・発展が進みにくい理由を、植民地支配に根ざす課題と関連付けて考えている。</p>
<p>【まとめとふり返り】アフリカ州の学習をまとめよう (教科書 P. 88-89)</p>	<p>○アフリカ州にみられる地球的課題の解決に向けた様々な取り組みの順位付けを、取り組みの効果、実現の可能性、持続可能性又は実現までに要する時</p>	<p>思考・判断・表現</p> <p>アフリカ州にみられる地球的課題の解決に向けた取り組みの順位付けを、取り組みの効果と、実現の可能性、持続可能性又は実現までに要する時間を組み合わせて考えられている。</p>

	間を組み合わせる。 ○単元全体の自己の学習を振り返り、学習状況や達成度を適切に自己評価し、今後の学習や生活に生かそうとする。	主体的に学習に取り組む態度★ アフリカ州における自己の学習の経過を振り返り、学習状況や達成度を適切に自己評価し、今後の学習や生活に生かそうとしている。
--	---	---

第4節 北アメリカ州－世界に影響をあたえる産業をテーマに－

学習指導要領の内容：B（2）

第4節の目標	
<p>○「世界に影響をあたえる産業」を主題として、様々な事象を有機的に関連付けて追究し、北アメリカ州の地域的特色や地球的課題を理解するとともに、地図・グラフ・写真などの資料から地理的事象を効果的に調べまとめる技能を身に付ける。</p> <p>○「世界に影響をあたえる産業」を主題として、地図・グラフ・写真などの資料を活用し、地理的な見方・考え方を働かせ、北アメリカ州の地域的特色や地球的課題を多面的・多角的に考察したり、思考したことを説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。</p> <p>○北アメリカ州の地域的特色について、そこでみられる地球的課題を主体的に追究、解決しようとするとともに、北アメリカ州の学習を振り返り、自身の学習状況や達成度を適切に自己評価しようとする態度を養う。</p> <p>【第4節の問い】 北アメリカの産業は、世界にどのような影響をあたえているのでしょうか。</p>	
第4節の評価規準	<p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「世界に影響をあたえる産業」を主題として、地図・グラフ・写真などの資料から、北アメリカ州の地域的特色や地球的課題を適切に読み取り、分析している。 ・「世界に影響をあたえる産業」を主題として、北アメリカ州の地域的特色や地球的課題を理解し、その知識を身に付けている。
	<p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「世界に影響をあたえる産業」を主題として、地理的な見方・考え方を働かせ、北アメリカ州の地域的特色や地球的課題を多面的・多角的に考察している。 ・「世界に影響をあたえる産業」を主題として、北アメリカ州の地域的特色や地球的課題を考察した過程や結果を図や文章などに適切に表現し、それらをもとに議論している。
	<p>主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北アメリカ州を大観し節の問いを立てる活動を通して、北アメリカ州の学習について見通しをもって取り組もうとしている。 ・北アメリカ州の学習を振り返りながら自身の学習状況や達成度を適切に自己評価し、北アメリカ州の地域的特色や地球的課題を主体的に追究、解決しようとしている。

※評価規準の★は「評定に用いる評価」で、それ以外は「学習改善につなげる評価」を示します。

累計時数	学習内容	学習目標	評価規準
36 37 38 39 40	<p>写真で見る北アメリカ州 (教科書P. 90-91)</p> <p>1 北アメリカの自然環境と人々のかかわり (教科書P. 92-93)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地図をながめて ・北アメリカの多様な地形と気候 ・北アメリカに住む人々 	<p>○北アメリカ州の自然条件と人口分布や多民族国家としての特色を大観し、理解する。</p> <p>○北アメリカ州を地形や気候の特色をもとに大きく地域区分して、それぞれの地域の人口分布の特色を自然環境と関連付けて考察する。</p>	<p>知識・技能★ 北アメリカ州の自然条件と人口分布や多民族国家としての特色を大観し、理解している。</p> <p>思考・判断・表現 北アメリカ州を地形や気候の特色をもとに大きく地域区分して、それぞれの地域の人口分布の特色を自然環境と関連付けて考察している。</p>

<p>【持続可能な地域をめざして】アメリカと世界の未来 【節の問いを立てよう】 北アメリカ州 (教科書 P. 94-95)</p>	<p>○北アメリカ州で生まれた企業の提供する効率的で便利な生活様式が、世界の人々の生活に大きな影響を与えてきたことを理解する。</p> <p>○北アメリカ州の地域的特色を追究する節の学習課題を理解し、見通しをもって主体的に取り組もうとする。</p>	<p>知識・技能 北アメリカ州で生まれた企業の提供する効率的で便利な生活様式が、世界の人々の生活に大きな影響を与えてきたことを理解している。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度★ 北アメリカ州の地域的特色を追究する節の学習課題を理解し、見通しをもって主体的に取り組もうとしている。</p>
<p>2 世界の食料庫、北アメリカ (教科書 P. 96-97)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模な農産物の生産 ・適地適作の農業 ・世界を支える北アメリカの農業 	<p>○北アメリカの各地域の農業について主題図を活用して地理的条件を読み取り、各農業地域の地域的特色を理解する。</p> <p>○北アメリカの農業の特色を世界の国々とのつながりに着目して、アグリビジネスに関わる多国籍企業の活動と関連付けて考察する。</p>	<p>知識・技能★ 北アメリカの各地域の農業について主題図を活用して地理的条件を読み取って、各農業地域の地域的特色を理解している。</p> <p>思考・判断・表現 北アメリカの農業の特色を世界の国々とのつながりに着目して、アグリビジネスに関わる多国籍企業の活動と関連付けて考察している。</p>
<p>3 世界をリードする北アメリカの工業 (教科書 P. 98-99)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アメリカの工業の歴史 ・変化するアメリカの工業 ・工業からみた北アメリカの結びつき 	<p>○北アメリカの工業について、中核的な工業が時代とともに変容することに伴って工業の中心地域が移動してきたことを理解する。</p> <p>○北アメリカの工業の変化と発展の要因について世界の国々との競争や協調に着目して考察する。</p>	<p>知識・技能★ 北アメリカの工業について、中核的な工業が時代とともに変容することに伴って工業の中心地域が移動したことを、地理的条件と結びつけて理解している。</p> <p>思考・判断・表現★ 北アメリカの工業の変化と発展の要因について世界の国々との競争や協調に着目して考察している。</p>
<p>4 世界に影響をあたえるアメリカの文化と社会 (教科書 P. 100-101)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界に広がるアメリカの文化 ・多様な人々からなるアメリカ社会の変化 	<p>○北アメリカで生まれた企業の提供する便利で快適な生活様式が、日本で暮らす自分たちにとっても当たり前前の存在になっていることを理解する。</p> <p>○北アメリカの生活や文化が世界中の人々の日常生活に大きな影響力をもっている要因を自分たちの生活に引きつけて考察する。</p>	<p>知識・技能 北アメリカで生まれた企業の提供する便利で快適な生活様式が、日本で暮らす自分たちにとっても当たり前前の存在になっていることを理解している。</p> <p>思考・判断・表現 北アメリカの生活や文化が世界中の人々の日常生活に大きな影響力をもっている要因について、自分たちの生活に引きつけて考察している。</p>
<p>5 大量生産・大量消費の生活から持続可能な社会へ (教科書 P. 102-103)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車社会の生活のようす 	<p>○持続可能な社会の視点からみたときに、北アメリカ州にみられる大量生産・大量消費の生活様式には多くの課題があることを理解する。</p>	<p>知識・技能 持続可能な社会の視点からみたときに、北アメリカ州にみられる大量生産・大量消費の生活様式には多くの課題があることを理解している。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・大量生産・大量消費をめぐる問題 ・新たな取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ○地球的課題となっている大量生産・大量消費の生活様式を改めるために取り組むべきことについて、自分たちの生活に引きつけながら考察する。 	<p>思考・判断・表現</p> <p>大量生産・大量消費の生活様式を改めるために取り組むべきことについて、自分たちの生活に引きつけながら考察している。</p>
<p>【まとめとふり返り】北アメリカ州の学習をまとめよう (教科書 P. 104-105)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○北アメリカ州の様々な地域的特色が世界の人々にどのように影響しているか、多面的・多角的に考察する。 ○単元全体の自己の学習を振り返り、学習状況や達成度を適切に自己評価し、今後の学習や生活に生かそうとする。 	<p>思考・判断・表現★</p> <p>北アメリカ州の様々な地域的特色がどのように関連し合って世界に影響をあたえているか、多面的・多角的に考察している。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度★</p> <p>北アメリカ州における自己の学習の経過を振り返り、学習状況や達成度を適切に自己評価し、今後の学習や生活に生かそうとしている。</p>

第5節 南アメリカ州—開発と環境保全をテーマに—

学習指導要領の内容：B（2）

<p style="text-align: center;">第5節の目標</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ○「開発と環境保全」を主題として、様々な事象を有機的に関連付けて追究し、南アメリカ州の地域的特色や地球的課題を理解するとともに、地図・グラフ・写真などの資料から地理的事象を効果的に調べまとめる技能を身に付ける。 ○「開発と環境保全」を主題として、地図・グラフ・写真などの資料を活用し、地理的な見方・考え方を働かせ、南アメリカ州の地域的特色や地球的課題を多面的・多角的に考察したり、思考したことを説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。 ○南アメリカ州の地域的特色について、そこでみられる地球的課題を主体的に追究、解決しようとするとともに、南アメリカ州の学習を振り返り、自身の学習状況や達成度を適切に自己評価しようとする態度を養う。 <p>【第5節の問い】 南アメリカの開発と環境保全は、どのような状況になっていて、何が問題になっているのでしょうか。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">第5節の評価規準</p>	<p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「開発と環境保全」を主題として、地図・グラフ・写真などの資料から、南アメリカ州の地域的特色や地球的課題を適切に読み取り、分析している。 ・「開発と環境保全」を主題として、南アメリカ州の地域的特色や地球的課題を理解し、その知識を身に付けている。 <p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「開発と環境保全」を主題として、地理的な見方・考え方を働かせ、南アメリカ州の地域的特色や地球的課題を多面的・多角的に考察している。 ・「開発と環境保全」を主題として、南アメリカ州の地域的特色や地球的課題を考察した過程や結果を図や文章などに適切に表現し、それらをもとに議論している。 <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南アメリカ州を大観し節の問いを立てる活動を通して、南アメリカ州の学習について見通しをもって取り組もうとしている。 ・南アメリカ州の学習を振り返りながら自身の学習状況や達成度を適切に自己評価し、南アメリカ州の地域的特色や地球的課題を主体的に追究、解決しようとしている。

※評価規準の★は「評定に用いる評価」で、それ以外は「学習改善につなげる評価」を示します。

累計 時数	学習内容	学習目標	評価規準
41 42 43	写真で見る南アメリカ州 (教科書 P. 106-107) 1 南アメリカの自然環境と人々のかかわり (教科書 P. 108-109) ・長い山脈と大きな川 ・緯度と高度で変化する気候 ・自然環境に応じた人口分布と産業	○地形地図から、南アメリカ大陸が赤道の北から南極大陸近くまで広がっていること、アンデス山脈やアマゾン川が位置し、大陸の大部分が熱帯雨林であるという地形の特色を理解する。 ○南アメリカ州の国々の農業や鉱業などの特色を、地図や統計資料などから把握する。	知識・技能★ 南アメリカ州の気候や人口分布の特色を地図やグラフから読み取ることができる。 思考・判断・表現 気候や地形の特色が、人々の生活にどのような影響を与えているかを説明できる。
	【持続可能な地域をめざして】 熱帯雨林の豊かな自然環境と経済発展 【節の問いを立てよう】 南アメリカ州 (教科書 P. 110-111)	○地球温暖化などの環境問題と南アメリカ州が密接に関わっていることを理解する。 ○南アメリカ州の地域的特色について見通しをもって学習に取り組もうとし、課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	知識・技能 写真やグラフから地球環境問題と南アメリカ州の関係についておおまかにとらえることができる。 主体的に学習に取り組む態度★ 南アメリカ州の地域的特色について、見通しをもって学習に取り組もうとし、課題を追究しようとしている。
	2 移民の流入と都市人口の増加 (教科書 P. 112-113) ・南アメリカの先住民の文化 ・多様な民族と文化 ・都市問題と改善への取り組み	○ヨーロッパの植民地となったことで、民族、文化、産業に生じた変化を理解する。 ○都市への人口集中の背景を把握し、その対応について考える。	知識・技能 南アメリカ州の開発の歴史と、それに伴う自然環境や人々の生活の変化について理解している。 思考・判断・表現 都市への人口の集中について、その背景をもとに、課題や展望について考察している。
	3 アマゾン川流域の開発と環境保全 (教科書 P. 114-115) ・進む開発と熱帯雨林の消失 ・開発が環境に与える影響 ・環境に配慮した新しい取り組み	○アマゾン川流域の開発の現状とその課題を理解するとともに、環境保全が必要な理由を考える。 ○バイオ燃料など、持続可能な開発が注目されている理由を、環境問題との関係から考える。	知識・技能★ アマゾン川流域において急速に環境破壊が進んだ理由を理解できる。 思考・判断・表現★ 農業や工業において、環境保全の取り組みが進められている理由を説明できる。
	【まとめとふり振り返り】 南アメリカ州の学習をまとめよう (教科書 P. 116-117)	○熱帯雨林の開発と保全について、様々な立場から検討し、世界的な課題としてこの問題をとらえることができる。 ○単元全体の自己の学習を振り返り、学習状況や達成度を適切に自己評価し、今後の学習や生活に生かそうとする。	思考・判断・表現★ 熱帯雨林に関わる様々な立場から環境問題への意見を考えている。 主体的に学習に取り組む態度★ 南アメリカ州における自己の学習の経過を振り返り、学習状況や達成度を適切に自己評価し、今後の学習や生活に生かそうとしている。

第6節の目標

- 「多文化社会」を主題として、様々な事象を有機的に関連付けて追究し、オセアニア州の地域的特色や地球的課題を理解するとともに、地図・グラフ・写真などの資料から地理的事象を効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
- 「多文化社会」を主題として、地図・グラフ・写真などの資料を活用し、地理的な見方・考え方を働かせ、オセアニア州の地域的特色や地球的課題を多面的・多角的に考察したり、思考したことを説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。
- オセアニア州の地域的特色について、そこでみられる地球的課題を主体的に追究、解決しようとするとともに、オセアニア州の学習を振り返り、自身の学習状況や達成度を適切に自己評価しようとする態度を養う。

【第6節の問い】

オセアニアでは、どのように多様性を尊重する社会づくりを進めているのでしょうか。

第6節の評価規準

知識・技能

- ・「多文化社会」を主題として、地図・グラフ・写真などの資料から、オセアニア州の地域的特色や地球的課題を適切に読み取り、分析している。
- ・「多文化社会」を主題として、オセアニア州の地域的特色や地球的課題を理解し、その知識を身に付けている。

思考・判断・表現

- ・「多文化社会」を主題として、地理的な見方・考え方を働かせ、オセアニア州の地域的特色や地球的課題を多面的・多角的に考察している。
- ・「多文化社会」を主題として、オセアニア州の地域的特色や地球的課題を考察した過程や結果を図や文章などに適切に表現し、それらをもとに議論している。

主体的に学習に取り組む態度

- ・オセアニア州を大観し節の問いを立てる活動を通して、オセアニア州の学習について見通しをもって取り組もうとしている。
- ・オセアニア州の学習を振り返りながら自身の学習状況や達成度を適切に自己評価し、オセアニア州の地域的特色や地球的課題を主体的に追究、解決しようとしている。

※評価規準の★は「評定に用いる評価」で、それ以外は「学習改善につなげる評価」を示します。

累計時数	学習内容	学習目標	評価規準
44 45 46	写真で見るオセアニア州 (教科書 P. 118-119) 1 オセアニアの自然環境と人々のかかわり (教科書 P. 120-121) ・オーストラリア大陸と太平洋の島々 ・自然環境のちがいによる多様な生活 ・自然環境を生かした産業	○写真やグラフなどの資料を活用し、オセアニア州についての興味・関心を高める。 ○地図や雨温図の読み取りを通してオセアニア州の地形・気候の特色を考察するとともに、主要な産業との関連性について説明する。	知識・技能★ オセアニア州の地形や気候の特色を、地図や雨温図などから読み取って理解している。 思考・判断・表現 オセアニア州の地形や気候などの自然環境と、人々の生活や産業を関連付けて考え、説明している。
	【持続可能な地域をめざして】ニュージーランドにみる多文化社会 【節の問いを立てよう】 オセアニア州 (教科書 P. 122-123)	○ニュージーランドの建国の歴史と先住民や他の移民との関わりの変化を関連付けながら、多文化社会について考察する。 ○オセアニア州の地域的特色について見通しをもつ	思考・判断・表現 オセアニア諸国が目指す多文化社会について、資料から読み取れることを関連付けて考察し、自らの考えを表現することができる。 主体的に学習に取り組む態度★ オセアニア州の地域的特色につい

	て学習に取り組もうとし、課題を主体的に追究・解決しようとする態度を養う。	て、見通しをもって学習に取り組もうとし、課題を追究しようとしている。
2 多様性を尊重する社会づくりを進めるオセアニア (教科書 P. 124-125) ・多民族化するオセアニア ・白豪主義から多文化社会へ ・多様な民族の共生	○イギリスの植民地としてスタートしたオーストラリアが、先住民やアジア系移民に対する迫害や抑圧の歴史を乗り越え、多文化社会として発展した過程を理解する。 ○オーストラリアが行う多文化社会実現のための取り組みを理解し、なぜそのような社会を目指すようになったのか考察する。	知識・技能★ オーストラリアが多文化社会に変遷していった過程を、政策などと合わせて理解している。 思考・判断・表現★ なぜオセアニア州の国々が多文化社会を目指すようになったのか、歴史的背景をふまえてその理由を考察している。
3 太平洋の島々の多様な文化と自然環境 (教科書 P. 126-127) ・太平洋の島々の文化 ・深刻化する環境問題 ・太平洋の島々と観光	○太平洋島嶼国の伝統的文化には、他地域との結び付きによる変化と、独自性の復興を目指す動きの両面性があることをとらえる。 ○太平洋島嶼国が抱える地球温暖化などによる海面上昇や観光問題を他地域との結びつきに起因する地球的課題としてとらえ、その解決に必要な視点を見出す。	知識・技能 太平洋の島々の自然環境や文化、人々の生活の特色とその変化について理解している。 思考・判断・表現 太平洋の島々が抱える環境問題や観光問題について、自らの生活と関連付けて考えている。
【まとめと振り返り】オセアニア州の学習をまとめよう (教科書 P. 128-129)	○国家成立の歴史的背景をふまえてオセアニア州の特色を整理し、多様性を尊重する社会がどのように形成されてきたのか、またその意義について考察する。 ○単元全体の自己の学習を振り返り、学習状況や達成度を適切に自己評価し、今後の学習や生活に生かそうとする。	思考・判断・表現★ 既習事項を活用しながら、資料を読み取り考えたことを根拠とし、多様性を尊重することの意義について自身の考えを表現している。 主体的に学習に取り組む態度★ オセアニア州における自己の学習の経過を振り返り、学習状況や達成度を適切に自己評価し、今後の学習や生活に生かそうとしている。

第1章の目標	
<p>○身近な地域に対する理解を深め、身近な地域の調査を行う際のテーマ設定の視点や調査方法、まとめ方を身に付ける。</p> <p>○もっている知識や生活体験と調査結果をもとに、地域の課題を考察し、興味・関心に基づいて身近な地域の調査のテーマを設定し、調査結果を整理してまとめ、わかりやすく発表する。</p> <p>○身近な地域の調査活動や調査結果のまとめ、発表に意欲的に取り組み、身近な地域の特色や課題を追究するとともに、第3編第1章の学習を振り返り、自身の学習状況や達成度を適切に自己評価しようとする態度を養う。</p> <p>【第3編第1章の問い】 身近な地域の特色は、どのように調査を進めていけばとらえられるのでしょうか。</p>	
第1章の評価規準	<p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域の自然環境、人口、産業、交通、文化、伝統などの基礎的、基本的な知識を身に付けている。 ・身近な地域の調査を行うテーマ設定の視点や調査の方法を身に付けている。身近な地域に関する様々な資料を収集し、地域的特色についての情報を適切に読み取っている。 ・地形図の決まりや仕組み、グラフの特色を身に付け、読み取った情報を、地図やグラフなどを用いて適切にまとめている。まとめの基本的な構成や文章の記述方法を習得している。
	<p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域の地域的特色をとらえる適切な調査のテーマを設定し、身近な地域の課題を見出だしている。 ・身近な地域の調査を行うテーマ設定の視点をもとに、地域的特色を多面的、多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。
	<p>主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査テーマを決め、調査計画を立てる活動を通して、地域調査の手法の学習について見通しをもって取り組もうとしている。 ・地域調査の手法の学習を振り返りながら自身の学習状況や達成度を適切に自己評価し、地域の課題を主体的に追究しようとしている。

※評価規準の★は「評定に用いる評価」で、それ以外は「学習改善につなげる評価」を示します。

累計時数	学習内容	学習目標	評価規準
50 51 52 53 54 55	<p>【学習のはじめに】 地域の特色をどのように調べればよいのだろう (教科書 P. 130-131)</p>	<p>○これまでの学習や既知の知識をもとに、身近な地域の特色を五つの視点を用いて考え、追究したいテーマや疑問を自分の言葉で表現する。</p> <p>○話し合いなどを通して、身近な地域の特色や疑問を主体的に追究する。</p>	<p>思考・判断・表現 身近な地域の特色を五つの視点を用いて考え、追究したいテーマや疑問を自分の言葉で表現している。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度★ 話し合いなどを通して、身近な地域の特色や疑問を主体的に追究している。</p>
	<p>【スキルUP】 地形図のしくみと約束を知る (教科書 P. 132-133)</p> <p>【スキルUP】 デジタル地図を活用する (教科書 P. 134-135)</p>	<p>○地形図やデジタル地図の仕組みや約束を理解して情報を読み取る。また、地形図とデジタル地図のそれぞれの特色を理解して、身近な地域の調査に生かしていけるようにする。</p>	<p>知識・技能★ 縮尺や等高線、地図記号などの仕組みや約束を理解するとともに、デジタル地図の技能を高め、必要な情報を正しく読み取っている。</p> <p>思考・判断・表現 地形図やデジタル地図から必要な</p>

	○地形図やデジタル地図から、地域の様子や変化などを理解する。	情報を選択して取り出し、身近な地域の調査に役立てようとしている。
1 調査テーマを決めて調査計画を立てよう (教科書 P. 136-137) ・関係図を作り調査テーマを決定する ・調査テーマに対する仮説を立てる ・調査計画を立てる	○関連図を作成するなどして調べたいことを五つの視点に基づいて整理し、適切な調査テーマを話し合いながら決定する。 ○テーマを追究するために必要な情報を入手できる調査について、無理のない計画を作成する。	知識・技能 わかっていることや知っていることとその根拠となることをまとめ、関連図を作成している。 思考・判断・表現★ 調査テーマに対して根拠のある仮説を立てている。また、調査テーマに迫るために有効な調査方法を考え、無理なく実行できる調査計画を作成している。
2 調査を進めよう(1) (教科書 P. 138-139) ・実際に歩いて野外観察をする ・人々に聞き取り調査をする	○地図をもとに現地を観察し、得られた情報を適切に記録する。 ○求める情報を持っている調査対象を適切に選び、マナーを守って聞き取り調査を行う。	知識・技能 地域の人々から求める情報を手に入れるために、マナーを守って聞き取り調査を行っている。 思考・判断・表現 地図を利用して調査対象のある場所へ移動し、適切な方法を選んで記録している。
3 調査を進めよう(2) (教科書 P. 140-141) ・文献資料を使って調査する ・統計資料を使って調査する	○文献資料や統計資料を入手し、その情報を適切に活用する。 ○入手した資料から必要な情報を取り出し、野外観察の成果と比較したり関連づけたりして分析・整理する。	知識・技能★ 入手した文献資料や統計資料から必要な情報を取り出し、それらを表やグラフなどに加工してまとめている。 思考・判断・表現 資料から得た情報と野外観察の成果とを比較したり関連づけたりして、正当性を判断している。
【まとめとふり返し】地域の特色を考察してまとめ、発表しよう (教科書 P. 142-143)	○テーマや仮説をふまえて、調査結果を多面的・多角的に考察し、自分の考えを表現する。 ○単元全体の自己の学習を振り返り、学習状況や達成度を適切に自己評価し、今後の学習や生活に生かそうとする。	思考・判断・表現★ 身近な地域の特色や課題を多面的・多角的にとらえ、そこから考えたことを自分の言葉で説明している。 主体的に学習に取り組む態度★ 地域調査の手法における自己の学習の経過を振り返り、学習状況や達成度を適切に自己評価し、今後の学習や生活に生かそうとしている。

第2章 日本の地域的特色と地域区分

学習指導要領の内容：C(2)

第2章の目標

- 日本の自然環境、人口、資源・エネルギーと産業、交通・通信の各項目に関する特色とそれに基づく地域区分をふまえ、我が国の国土の特色を大観して理解し、地域区分をする技能を身に付ける。
- 日本の自然環境、人口、資源・エネルギーと産業、交通・通信の各項目による地域区分を、地域の共通点や差異、分布の傾向性などに着目し、比較したり関連付けたりして考察し、その結果を表現する。
- 日本の地域的特色を意欲的に追究し、各項目に関わる課題を主体的に追究、解決しようとするとともに、第3編第2章の学習を振り返り、自身の学習状況や達成度を適切に自己評価しようとする態度を養う。

【第3編第2章の問い】

日本にはどのような特色があり、それらの特色からどのように地域区分できるのでしょうか。

第2章の評価規準

知識・技能

- ・日本の自然環境、人口、資源・エネルギーと産業、交通・通信の各項目に関する特色とそれに基づく地域区分をふまえ、我が国の国土の特色を大観し理解している。
- ・日本全体の主題図やグラフなどを、地域の共通点や差異、分布の傾向性などに着目して読み取ったり作成したりするなどして地域区分をしている。

思考・判断・表現

- ・日本の自然環境、人口、資源・エネルギーと産業、交通・通信の各項目による地域区分を、地域の共通点や差異、分布の傾向性などに着目し、比較したり関連付けたりして考察し、その結果を表現している。

主体的に学習に取り組む態度

- ・章の問いを立てる活動を通して、日本の地域的特色と地域区分の学習について見通しをもって取り組もうとしている。
- ・日本の地域的特色と地域区分の学習を振り返りながら自身の学習状況や達成度を適切に自己評価し、日本の地域的特色と地域区分の特色を主体的に追究、解決しようとしている。

※評価規準の★は「評定に用いる評価」で、それ以外は「学習改善につなげる評価」を示します。

累計 時数	学習内容	学習目標	評価規準
56	【学習のはじめに】地図を重ね合わせて特色を読み取ろう (教科書 P. 144-145)	○複数の主題図の比較から、地形と人口分布、人口密度と農業生産額などの関係性を考察し、表現する。 ○日本の地域的特色と地域区分について、見通しをもって学習に取り組み、主体的に追究する。	思考・判断・表現 複数の主題図の比較から、地形と人口分布、人口密度と農業生産額などの関係性を考察し、表現している。 主体的に学習に取り組む態度★ 日本の地域的特色と地域区分について、見通しをもって学習に取り組み、主体的に追究している。
57	1 地形からみた日本の地域的特色と地域区分 (教科書 P. 146-147) ・背骨のようにつらなる山地 ・山と川がつくる多様な地形 ・変化に富む海岸 ・地形からみた日本の地域区分	○日本は環太平洋造山帯に属すること、山地・山脈は東日本では南北方向に、西日本では東西方向に連なっていること、河川によって形成された小規模な平地が点在していること、様々な形状の海岸線があることを理解する。 ○それぞれの地形が分布する位置を比較・分類し、地形の特色に応じた地域区分を白地図に表現する。	知識・技能 日本の山地・山脈の連なり方や点在する平地、複雑な海岸線など、日本の地形の特色を理解している。 思考・判断・表現 日本の地形の特色から、その特色に応じた地域区分を考え、白地図に表現している。
58	2 気候からみた日本の地域的特色と地域区分 (教科書 P. 148-149) ・四季の変化がはっきりとした気候 ・降水量の多い気候 ・気候からみた日本の地域区分	○日本の気候は、緯度の違いや季節風、梅雨や台風、地形の影響によって、平均気温や降水量の違いから、おおよそ六つに区分できることを理解する。 ○各都市の雨温図を比較し、気温や降水量の違いを読み取り、その違いから、気	知識・技能 日本の気候は、季節風や地形などの自然条件から、おおよそ六つに区分できることを理解している。 思考・判断・表現 日本の各都市の雨温図を比較し、それぞれの気候の特色から、地域区分を白地図に表現している。

		候の特色に応じた地域区分を白地図に表現する。	
59	3 自然災害からみた日本の地域的特色と地域区分 (教科書 P. 150-151) ・地震・火山による災害 ・さまざまな気象災害 ・自然災害からみた日本の地域区分	○日本は環太平洋造山帯に属し地震や火山災害が起きやすいことや、梅雨や台風による大雨や冬季の大雪による気象災害が起こること、気象災害の起こりやすさに地域差があることを理解する。 ○自然災害が起こる原因を把握し、発生しやすい地域をとらえ、地域ごとの特色を白地図に表現する。	知識・技能 日本で様々な自然災害が起こる原因と、その起こりやすさに地域差があることを理解している。 思考・判断・表現 日本で起こる様々な自然災害の原因を、自然環境の特色から考察し、地域区分を白地図に表現している。
60	4 災害にそなえるために (教科書 P. 152-153) ・防災・減災へのくふう ・どのように災害と向き合うか	○日本では、様々な自然災害に対して防災や減災の取り組みが行われていることを理解する。 ○身近な地域で想定される自然災害に対して、想定される防災や減災の取り組みを考察し、説明する。	知識・技能 自然災害に対して行われる防災や減災の取り組みの意味や意義を理解している。 思考・判断・表現 身近な地域で想定される自然災害に対して、想定される防災や減災の取り組みを考察し、説明している。
61	【持続可能な地域をめざして】せまりくる巨大地震にそなえて 【持続可能な地域をめざして】ハザードマップを活用しよう (教科書 P. 154-155)	○身近な地域のハザードマップから地域で想定される災害被害を読み取るとともに、地域の防災・減災の現状や課題を理解する。 ○身近な地域のハザードマップを活用し、災害発生時に取るべき行動や防災・減災対策を考察し、自らの避難経路を表現する。	知識・技能 身近な地域のハザードマップから地域で想定される災害被害を読み取るとともに、地域の防災・減災の現状や課題を理解している。 思考・判断・表現 身近な地域のハザードマップを活用し、災害発生時に取るべき行動や防災・減災対策を考察し、自らの避難経路を表現している。
62	5 人口からみた日本の地域的特色と地域区分 (教科書 P. 156-157) ・人口減少と少子高齢化 ・人口構成のかたより ・人口分布のかたよりと課題 ・人口からみた日本の地域区分	○日本の人口構成と人口分布について変化の傾向を読み取って、人口からみた日本の地域的特色を理解する。 ○日本の人口問題について過疎・過密地域の地域的課題と関連させて考察し、地域的特色を理解する。	知識・技能 日本の人口構成と人口分布の変化の様相を読み取って、理解している。 思考・判断・表現★ 日本の人口からみた地域的特色を、過疎・過密地域の地域区分をふまえて考察し、的確に説明している。
63	6 資源・エネルギーからみた日本の地域的特色と地域区分 (教科書 P. 158-159) ・鉱産資源を外国に依存する日本 ・資源を確保するために	○日本は資源に恵まれていないため、大部分を輸入に依存しながら大量消費をしていることを理解する。 ○資源の大量消費によって起きている問題を、環境	知識・技能 日本がどのくらいの資源を消費しており、そのうちのどの程度を輸入に依存しているかを、輸入先とともに理解している。 思考・判断・表現 日本の生活や産業を支える資源の

	<ul style="list-style-type: none"> ・環境問題への取り組み ・資源・エネルギーからみた日本の地域区分 	と生産の面からとらえる。	大量消費がどのような問題を引き起こし、それに対してどのような取り組みをしているかを考察している。
64	<p>7 産業からみた日本の地域的特色と地域区分 (教科書 P. 160-161)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域によって多様な農業 ・発展してきた工業 ・拡大する商業とサービス業 ・産業からみた日本の地域区分 	<ul style="list-style-type: none"> ○太平洋ベルトをはじめ、日本にどのような産業が盛んな地域があるかとらえる。 ○日本では、自然的・社会的条件によって産業の地域的分業が進んでいることに気付く。 	<p>知識・技能★ 日本のそれぞれの産業がどのような地域で盛んに行われているか整理してつかんでいる。</p> <p>思考・判断・表現 それぞれの地域がもつ自然的・社会的条件と、その地域で発達している産業との関連を多面的に分析して説明している。</p>
65	<p>8 交通・通信からみた日本の地域的特色と地域区分 (教科書 P. 162-163)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本と世界を結ぶ交通網 ・国内交通網の発達と生活の変化 ・交通網の発達と生活の変化 ・交通・通信からみた日本の地域区分 	<ul style="list-style-type: none"> ○日本全体で整備された交通網が高速化して再構成されていること、情報通信ネットワークが確立されていることを理解する。 ○交通網の発達によって国内各地の時間的距離がどのくらい短縮され、どのような影響をもたらしているかを考察する。 	<p>知識・技能 日本全体の交通網の高速化や、情報通信ネットワークの確立を、年代を追った地図の変化からつかんでいる。</p> <p>思考・判断・表現 交通網の高速化がもたらした時間的距離の短縮が、どのくらいの短縮でどのような影響が表れるのかを具体的に想定している。</p>
-	<p>【持続可能な地域をめざして】交通・通信からみる新型コロナウイルス感染症 (教科書 P. 164-165)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○交通網・通信網の発達が新型コロナウイルス感染症の拡大にどのような影響を及ぼしたのかを理解する。 ○感染症に関連して、交通網・通信網の発達のメリットとデメリットを考察する。 	<p>知識・技能 交通網・通信網の発達が新型コロナウイルス感染症の拡大にどのような影響を及ぼしたのかを理解している。</p> <p>思考・判断・表現 なぜ新型コロナウイルス感染症が拡大したか、交通・通信の視点から考察し、広がり方を地域ごとに比較したり関連付けたりしてその結果を表現している。</p>
66	<p>【まとめとふり返し】オリジナルの地域区分図を作成しよう (教科書 P. 166-167)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○日本の自然環境、人口、資源・エネルギーと産業、交通・通信の各項目に関する地域区分を、地域の共通点や差異、分布の傾向性などに着目し、比較したり関連付けたりして考察し、その結果を表現する。 ○単元全体の自己の学習を振り返り、学習状況や達成度を適切に自己評価し、今後の学習や生活に生かそうとする。 	<p>思考・判断・表現★ 日本の自然環境、人口、資源・エネルギーと産業、交通・通信の各項目に関する地域区分を地域の共通点や差異、分布の傾向性などに着目し、比較したり関連付けたりして考察し、その結果を表現している。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度★ 日本の地域的特色と地域区分における自己の学習の経過を振り返り、学習状況や達成度を適切に自己評価し、今後の学習や生活に生かそうとしている。</p>

第3章 日本の諸地域

第3章の目標

- 日本の各地方に設定した考察の仕方をもとに、様々な事象を有機的に関連付けて追究し、各地方の地域的特色や地域の課題を理解するとともに、地図・グラフ・写真などの資料から地理的事象を効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
- 日本の各地方に設定した考察の仕方をもとに、地図・グラフ・写真などの資料を活用し、地理的な見方・考え方を働かせ、各地方の地域的特色や地域の課題を多面的・多角的に考察したり、思考したことを説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。
- 日本の各地方の地域的特色について、そこでみられる地域の課題を主体的に追究、解決しようとするとともに、各地方の学習を振り返り、自身の学習状況や達成度を適切に自己評価しようとする態度を養う。

【第3編第3章の問い】

日本の七つの地方の地域的特色をとらえ、地域の課題の解決策を考えましょう。

第3章の評価規準

知識・技能

- ・日本の各地方に設定した考察の仕方をもとに、地図・グラフ・写真などの資料から、各地方の地域的特色や地域の課題を適切に読み取り、分析している。
- ・日本の各地方に設定した考察の仕方をもとに、各地方の地域的特色や地域の課題を理解し、その知識を身に付けている。

思考・判断・表現

- ・日本の各地方に設定した考察の仕方をもとに、地理的な見方・考え方を働かせ、各地方の地域的特色や地域の課題を多面的・多角的に考察している。
- ・日本の各地方に設定した考察の仕方をもとに、各地方の地域的特色や地域の課題を考察した過程や結果を図や文章などに適切に表現し、それらをもとに議論している。

主体的に学習に取り組む態度

- ・日本の各地方を大観し節の問いを立てる活動を通して、各地方の学習について見通しをもって取り組もうとしている。
- ・日本の各地方の学習を振り返りながら自身の学習状況や達成度を適切に自己評価し、各地方の地域的特色や地域の課題を主体的に追究、解決しようとしている。

※第3編第3章の「まとめと振り返り」は、7地方のうち3地方で、各1時間を配当して行うことを想定しています。

第1節 九州地方－自然環境をテーマに－

学習指導要領の内容：C（3）

第1節の目標

- 「自然環境」を中核とした考察の仕方をもとに、様々な事象を有機的に関連付けて追究し、九州地方の地域的特色や地域の課題を理解するとともに、地図・グラフ・写真などの資料から地理的事象を効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
- 「自然環境」を中核とした考察の仕方をもとに、地図・グラフ・写真などの資料を活用し、地理的な見方・考え方を働かせ、九州地方の地域的特色や地域の課題を多面的・多角的に考察したり、思考したことを説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。
- 九州地方の地域的特色について、そこでみられる地域の課題を主体的に追究、解決しようとするとともに、九州地方の学習を振り返り、自身の学習状況や達成度を適切に自己評価しようとする態度を養う。

【第1節の問い】

九州地方の人々の生活や産業は、自然環境からどのような影響を受けているのでしょうか。

第1節の評価規準

知識・技能

- ・「自然環境」を中核とした考察の仕方をもとに、地図・グラフ・写真などの資料から、九州地方の地域的特色や地域の課題を適切に読み取り、分析している。
- ・「自然環境」を中核とした考察の仕方をもとに、九州地方の地域的特色や地域の課題を理解し、その知識を身に付けている。

思考・判断・表現

- ・「自然環境」を中核とした考察の仕方をもとに、地理的な見方・考え方を働かせ、九州地方の地

域的特色や地域の課題を多面的・多角的に考察している。

- ・「自然環境」を中核とした考察の仕方をもとに、九州地方の域的特色や地域の課題を考察した過程や結果を図や文章などに適切に表現し、それらをもとに議論している。

主体的に学習に取り組む態度

- ・九州地方を大観し節の問いを立てる活動を通して、九州地方の学習について見通しをもって取り組もうとしている。
- ・九州地方の学習を振り返りながら自身の学習状況や達成度を適切に自己評価し、九州地方の域的特色や地域の課題を主体的に追究、解決しようとしている。

※評価規準の★は「評定に用いる評価」で、それ以外は「学習改善につなげる評価」を示します。

累計時数	学習内容	学習目標	評価規準
67 68 69 70 71	写真で見る九州地方 (教科書 P. 170-171) 1 九州地方の自然環境 と人々のかかわり (教科書 P. 172-173) ・火山が多い地形 ・温暖で雨の多い気候	○写真などから、九州地方について興味・関心を高め、学習意欲を高める。 ○九州地方の自然環境、土地利用、生活や産業の様子などを読み取り、九州地方の域的特色を大観する。	知識・技能★ 九州地方の地形や気候、人口の分布、人々の生活の様子などを、自然との関わりの視点から、おおまかに理解している。 思考・判断・表現 九州地方の自然環境の特色を、人々の生活と関連付けながら考察し、表現している。
	【持続可能な地域をめざして】 プロスポーツのキャンプが地域に与える影響－宮崎県日南市を例に－ 【節の問いを立てよう】 九州地方 (教科書 P. 174-175)	○自然環境の保全と地域振興・経済発展の両立を果たすための工夫を考える。 ○九州地方の域的特色について見通しをもって学習に取り組もうとし、課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	思考・判断・表現 自然環境と地域振興の両立を図る工夫について考察している。 主体的に学習に取り組む態度★ 九州地方の域的特色について、見通しをもって学習に取り組もうとし、課題を追究しようとしている。
	2 自然環境に影響を受ける人々の生活 (教科書 P. 176-177) ・火山と人々の生活 ・気候と人々の生活	○九州地方の人々の生活は、自然環境との密接な関わりのなかで営まれていることを理解する。 ○教科書やインターネット上の諸資料を活用して、多面的に考察する。	知識・技能★ 九州地方の人々の生活の特色を、火山活動や温暖な気候との関わりから理解している。 思考・判断・表現★ 九州地方の自然環境が人々の生活にもたらす正負の面を様々な資料から読み取り、多面的・多角的に考えている。
	3 自然環境を生かした農業 (教科書 P. 178-179) ・九州北部の稲作 ・九州南部の畜産業と園芸農業 ・環境を維持する農業	○九州では、気候や地形、土壌の特色などの自然環境を生かすとともに、灌漑施設の整備などにより、北部と南部で、それぞれ特色ある農業が営まれていることを理解する。 ○九州北部と南部の農業の特色や漁業が盛んな理由を、自然的条件と社会的条件の両面から考察する。	知識・技能 九州北部と南部の農業の特色を、自然的条件と社会的条件の両面から理解している。 思考・判断・表現 九州の農業の特色を生み出している理由を、地形や気候などと関連づけて考察している。

<p>4 自然環境を生かした南西諸島の観光業 (教科書 P. 180-181)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美しい自然を生かした観光業 ・沖縄の歴史と独自の文化 ・環境保全と観光の両立をめざして 	<ul style="list-style-type: none"> ○南西諸島の自然環境や大陸との交流によって形成された独自の文化について理解する。 ○南西諸島で観光業が発展している理由を、資料をもとに考察する。 	<p>知識・技能 南西諸島の独自の文化について、自然環境や大陸との交流との関わりから理解している。</p> <p>思考・判断・表現 南西諸島で観光業が発展している理由や課題を、自然環境、文化、産業と関連づけて考察している。</p>
<p>5 工業の変化と自然環境の保全 (教科書 P. 182-183)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の環境首都をめざす北九州市 ・北九州工業地帯の発展と公害 ・変わる九州地方の工業 	<ul style="list-style-type: none"> ○北九州市や水俣市を中心に、経済発展とその裏で起きた公害から持続可能な社会の実現に向けた地域の取り組みを理解する。 ○北九州工業地帯の主要産業の変化を、複数の資料から多面的・多角的に考察し、表現する。 	<p>知識・技能 北九州市や水俣市などでは、環境保全と経済発展の両立を図る取り組みをしていることを理解している。</p> <p>思考・判断・表現★ 北九州工業地帯の主要産業の変化と公害が起きた背景を、複数の資料から多面的・多角的に考察し、表現している。</p>
<p>【まとめとふり返り】九州地方の学習をまとめよう (教科書 P. 184-185)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○自然環境という観点から九州地方の全体像について多面的・多角的に考察する。 ○単元全体の自己の学習を振り返り、学習状況や達成度を適切に自己評価し、今後の学習や生活に生かそうとする。 	<p>思考・判断・表現 メリット、デメリットという枠組で九州地方の様々な社会事象を考察している。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度★ 九州地方における自己の学習の経過を振り返り、学習状況や達成度を適切に自己評価し、今後の学習や生活に生かそうとしている。</p>

第2節 中国・四国地方—交通・通信をテーマに—

学習指導要領の内容：C（3）

第2節の目標	
<ul style="list-style-type: none"> ○「交通や通信」を中核とした考察の仕方をもとに、様々な事象を有機的に関連付けて追究し、中国・四国地方の地域的特色や地域の課題を理解するとともに、地図・グラフ・写真などの資料から地理的事象を効果的に調べまとめる技能を身に付ける。 ○「交通や通信」を中核とした考察の仕方をもとに、地図・グラフ・写真などの資料を活用し、地理的な見方・考え方を働かせ、中国・四国地方の地域的特色や地域の課題を多面的・多角的に考察したり、思考したことを説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。 ○中国・四国地方の地域的特色について、そこでみられる地域の課題を主体的に追究、解決しようとするとともに、中国・四国地方の学習を振り返り、自身の学習状況や達成度を適切に自己評価しようとする態度を養う。 <p>【第2節の問い】 中国・四国地方では、どのように交通網・通信網を生かして、地域の活性化が進められているのでしょうか。</p>	<p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「交通や通信」を中核とした考察の仕方をもとに、地図・グラフ・写真などの資料から、中国・四国地方の地域的特色や地域の課題を適切に読み取り、分析している。 ・「交通や通信」を中核とした考察の仕方をもとに、中国・四国地方の地域的特色や地域の課題を理解し、その知識を身に付けている。 <p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「交通や通信」を中核とした考察の仕方をもとに、地理的な見方・考え方を働かせ、中国・四国地方の地域的特色や地域の課題を多面的・多角的に考察している。

・「交通や通信」を中核とした考察の仕方をもとに、中国・四国地方の地域的特色や地域の課題を考察した過程や結果を図や文章などに適切に表現し、それらをもとに議論している。

主体的に学習に取り組む態度

- ・中国・四国地方を大観し節の問いを立てる活動を通して、中国・四国地方の学習について見通しをもって取り組もうとしている。
- ・中国・四国地方の学習を振り返りながら自身の学習状況や達成度を適切に自己評価し、中国・四国地方の地域的特色や地域の課題を主体的に追究、解決しようとしている。

※評価規準の★は「評定に用いる評価」で、それ以外は「学習改善につなげる評価」を示します。

累計 時数	学習内容	学習目標	評価規準
72 73 74 75 76	写真で見る中国・四国地方 (教科書 P. 186-187) 1 中国・四国地方の自然 環境と人々のかかわり (教科書 P. 188-189) ・中国・四国地方の三つ の地域 ・山陰の地形・気候と人口・ 交通 ・瀬戸内の地形・気候と 人口・交通 ・南四国の地形・気候と 人口・交通	○中国・四国地方の地形の 特色をとらえるとともに、 山陰・瀬戸内・南四国の 気候の特色を地形の特色 や季節風、海流などと関 連付けて考察し、理解する。 ○中国・四国地方の人口分 布の特色を、地形の特色 と関連付けて考察し、理 解する。	知識・技能 中国・四国地方の地形・気候の特 色や人口分布の特色を、山陰・瀬戸内・ 南四国の三つの地域ごとに理解して いる。 思考・判断・表現 中国・四国地方に関する資料を活 用しながら、三つの地域の地域的特 色を考察し、表現している。
	【持続可能な地域をめざし て】橋の開通に未来を「か ける」－徳島県鳴門市を 例に－ 【節の問いを立てよう】 中 国・四国地方 (教科書 P. 190-191)	○本州四国連絡橋の整備に よる変化を示す資料をもと に、「節の問い」について の疑問や予想、「自分なり の問い」を考え、表現する。 ○中国・四国地方の地域的 特色をとらえていく学習 に見通しをもって取り組 み、課題を主体的に追究 し、解決しようとする態 度を養う。	知識・技能 学習課題に関する資料から情報を 適切に読み取り、学習課題を把握し ている。 主体的に学習に取り組む態度★ 節の問いに対する疑問や答えの予 想を記述し、中国・四国地方の地域 的特色について、見通しをもって学 習に取り組み、課題を追究しようと している。
	2 交通網の整備と人々 の生活 (教科書 P. 192-193) ・東西を結ぶ交通網の整 備と地域の変化 ・南北を結ぶ交通網の整 備と地域の変化 ・交通網の整備による光 と影	○中国・四国地方の各地域 に交通網がどのように整 備されているのかを理解 する。 ○中国・四国地方の交通網 の整備が、人の移動や物 資の輸送などにどのよう な影響を与えているのか を考え、その要因ととも に表現する。	知識・技能★ 中国・四国地方の各地域に交通網 がどのように整備されているか、結 ばれている都市やルートを理解して いる。 思考・判断・表現★ 交通網の整備により、産業や地域 社会に生まれたプラス面とマイナス 面の変化とその要因を考え、表現し ている。
	3 結びつきを生かした 工業 (教科書 P. 194-195) ・人口が集中する瀬戸内	○瀬戸内工業地域が発達し た理由を、地形の特色や 原料・製品の輸送から理 解する。	知識・技能 瀬戸内工業地域が発達した理由を、 自然環境や船による輸送の面から理 解している。

<ul style="list-style-type: none"> ・効率よく結びついた瀬戸内工業地域 ・工業の変化と交通網 	<ul style="list-style-type: none"> ○外国との競争などに対し、瀬戸内工業地域では交通網を利用してどのように工業を変化させているのかを考察する。 	<p>思考・判断・表現</p> <p>瀬戸内工業地域で新しい工業が行われている理由を、地域どうしのつながりに着目して考え、表現している。</p>
<p>4 交通・通信を生かした農業・漁業 (教科書 P. 196-197)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境を生かした中国・四国地方の農業 ・大消費地へ輸送される農産物・水産物 ・産地間の競争とブランド化の取り組み ・過疎化が進む山間地の農業と通信 	<ul style="list-style-type: none"> ○中国・四国地方の農業や漁業の特色を、地形や気候との関わりから理解する。 ○消費地・消費者との関係を念頭に、中国・四国地方の農業や漁業ではどのように生産や販売をし、地域活性化を図っているかを考察する。 	<p>知識・技能</p> <p>中国・四国地方の農業や漁業の特色を、地形や気候との関わりから理解している。</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>中国・四国地方ではどのような工夫や取り組みをして農産物や水産物の生産・販売を行ったり、地域活性化をしたりしているかを考察し、表現している。</p>
<p>5 交通・通信を生かした地域活性化 (教科書 P. 198-199)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過疎地域における交通・通信の活用 ・農村と都市の交流による地域活性化 	<ul style="list-style-type: none"> ○中国・四国地方の地域活性化の取り組みを通して、地域の人口の特色を理解する。 ○交通網や通信網を活用した地域活性化によって、中国・四国地方の過疎地域ではどのような変化がみられたかを考察し、表現する。 	<p>知識・技能★</p> <p>過疎地域の地域活性化の取り組みを通して、中国・四国地方の人口の特色を理解している。</p> <p>思考・判断・表現★</p> <p>交通網や通信網を活用した中国・四国地方の過疎地域の地域活性化の取り組みの様子や、過疎地域の変化を考え、表現している。</p>
<p>【まとめとふり振り返り】中国・四国地方の学習をまとめよう (教科書 P. 200-201)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○「節の問い」について自分の考えをまとめる活動を通して、中国・四国地方の特色をとらえ、表現する。 ○単元全体の自己の学習を振り返り、学習状況や達成度を適切に自己評価し、今後の学習や生活に生かそうとする。 	<p>思考・判断・表現</p> <p>交通網や通信網の整備により、中国・四国地方に生まれた工業や農業、観光業や人々の生活における変化を、地域の特色と関連付けて考え、まとめている。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度★</p> <p>中国・四国地方における自己の学習の経過を振り返り、学習状況や達成度を適切に自己評価し、今後の学習や生活に生かそうとしている。</p>

第3節 近畿地方—歴史的背景をテーマに—

学習指導要領の内容：C（3）

第3節の目標
<ul style="list-style-type: none"> ○「歴史的背景」を中核とした考察の仕方をもとに、様々な事象を有機的に関連付けて追究し、近畿地方の地域的特色や地域の課題を理解するとともに、地図・グラフ・写真などの資料から地理的事象を効果的に調べまとめる技能を身に付ける。 ○「歴史的背景」を中核とした考察の仕方をもとに、地図・グラフ・写真などの資料を活用し、地理的な見方・考え方を働かせ、近畿地方の地域的特色や地域の課題を多面的・多角的に考察したり、思考したことを説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。 ○近畿地方の地域的特色について、そこでみられる地域の課題を主体的に追究、解決しようとするとともに、近畿地方の学習を振り返り、自身の学習状況や達成度を適切に自己評価しようとする態度を養う。 <p>【第3節の問い】 近畿地方の生活や産業は、歴史的背景からどのような影響を受けているのでしょうか。</p>

知識・技能

- ・「歴史的背景」を中核とした考察の仕方をもとに、地図・グラフ・写真などの資料から、近畿地方の地域的特色や地域の課題を適切に読み取り、分析している。
- ・「歴史的背景」を中核とした考察の仕方をもとに、近畿地方の地域的特色や地域の課題を理解し、その知識を身に付けている。

思考・判断・表現

- ・「歴史的背景」を中核とした考察の仕方をもとに、地理的な見方・考え方を働かせ、近畿地方の地域的特色や地域の課題を多面的・多角的に考察している。
- ・「歴史的背景」を中核とした考察の仕方をもとに、近畿地方の地域的特色や地域の課題を考察した過程や結果を図や文章などに適切に表現し、それらをもとに議論している。

主体的に学習に取り組む態度

- ・近畿地方を大観し節の問いを立てる活動を通して、近畿地方の学習について見通しをもって取り組もうとしている。
- ・近畿地方の学習を振り返りながら自身の学習状況や達成度を適切に自己評価し、近畿地方の地域的特色や地域の課題を主体的に追究、解決しようとしている。

※評価規準の★は「評定に用いる評価」で、それ以外は「学習改善につなげる評価」を示します。

累計 時数	学習内容	学習目標	評価規準
77 78 79 80 81	写真で見る近畿地方 (教科書 P. 202-203) 1 近畿地方の自然環境 と人々のかかわり (教科書 P. 204-205) ・中部の平地と南北の山地 ・三つの地域で異なる気候 ・自然環境とそこに住む 人々の生活	○近畿地方の地形図や雨温 図などを活用し、三つの 地域の地域的特色を理解 する。 ○近畿地方の自然環境や歴 史的背景をふまえ、それ ぞれの地域に住む人々の 特色ある生活に気付く。	知識・技能 近畿地方は自然環境から三つの地 域に分けられ、それぞれ異なる地 域的特色があることを理解している。 思考・判断・表現 近畿地方の三つの自然環境の違 いや歴史的背景から地域の人々の生 活を考察し、それぞれ特色ある生 活を営んでいることに気付いている。
	【持続可能な地域をめざし て】歴史を大切に近畿 地方の地域づくり－京都 都市を例に－ 【節の問いを立てよう】 近 畿地方 (教科書 P. 206-207)	○京都市を例に、歴史的背 景によって人々の生活に 生じている影響や課題解 決のための取り組みにつ いて理解する。 ○近畿地方の地域的特色に ついて見通しをもって学 習に取り組もうとし、課 題を主体的に追究、解決 しようとする態度を養う。	知識・技能 京都市では観光業と人々の生活を 両立させるためにどのような取り 組みが行われているかを理解している。 主体的に学習に取り組む態度★ 近畿地方の地域的特色について、見 通しをもって学習に取り組もうとし、 課題を追究しようとしている。
	2 現在にいきづく歴史 的都市の特色 (教科書 P. 208-209) ・豊かな歴史に支えられ た近畿地方 ・千年の歴史をもつ京都 ・日本の歴史のふるさと、 奈良	○京都や奈良が歴史的にど のように発展してきたか、 人々の生活や産業の面か ら理解する。 ○日本の中心地であった歴 史が、京都や奈良の人々 の生活や産業にどのよう な影響を与えているかを 考察する。	知識・技能★ 京都や奈良が歴史的にどのよう に発展してきたか、人々の生活や産 業の面から理解している。 思考・判断・表現 歴史的背景をふまえて、京都や奈 良の人々の生活や産業の特色を適切 に説明している。

<p>3 港町から世界へ (教科書 P. 210-211)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の窓口としての大 阪湾 ・水の都、大阪の発展 ・世界への窓口となった 神戸 	<ul style="list-style-type: none"> ○大阪や神戸が歴史的にど のように発展してきたか、 人々の生活や産業の面か ら理解する。 ○歴史的な地域どうしのつ ながりが、大阪や神戸の 経済や文化にどのような 影響を与えているかを考 察する。 	<p>知識・技能★ 大阪や神戸が歴史的にど のように発展してきたか、 人々の生活や産業 の面から理解している。</p> <p>思考・判断・表現 歴史的背景をふまえて、 大阪や神 戸の経済や文化の特色・ 課題を適切 に説明している。</p>
<p>4 伝統を生かした産業 と世界進出 (教科書 P. 212-213)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・転換期をむかえる阪神 工業地帯 ・世界をめざす企業と伝 統産業の取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ○歴史的背景から、近畿地 方の工業や伝統産業の現 状や課題を理解する。 ○近畿地方の工業や伝統産 業が抱える課題を解決す るための取り組みについ て考察する。 	<p>知識・技能 阪神工業地帯や近畿地方 の伝統産 業がどのように発展して きたか、ど のような課題を抱えてい るかを理解 している。</p> <p>思考・判断・表現★ 阪神工業地帯や近畿地方 の伝統産 業が抱える課題を解決す るために、 どのような取り組みが行 われているか を適切に説明している。</p>
<p>5 歴史を未来へつなぐ 取り組み (教科書 P. 214-215)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史を生かした観光業 の発展と課題 ・歴史的な街なみの保全 と課題 	<ul style="list-style-type: none"> ○歴史的背景から、近畿地 方の観光業や歴史的景観 保全の現状や課題につい て理解する。 ○近畿地方の観光業や歴史 的景観保全が抱える課題 を解決するための取り組 みについて考察する。 	<p>知識・技能 近畿地方の観光業がど のように発 展してきたか、観光業や 歴史的景 観保全がど のような課題を抱えてい るかを理解 している。</p> <p>思考・判断・表現★ 近畿地方の観光業や歴史 的景観保 全が抱える課題を解決す るために、 どのような取り組みが行 われているか を適切に説明している。</p>
<p>【まとめとふり返り】近畿 地方の学習をまとめよう (教科書 P. 216-217)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○近畿地方の地域的特色を 整理し、歴史的背景と人々 の生活の両立について多 面的・多角的に考察する。 ○単元全体の自己の学習を 振り返り、学習状況や達 成度を適切に自己評価し、 今後の学習や生活に生か そうとする。 	<p>思考・判断・表現 近畿地方では歴史的背景 と人々の 生活をど のように両立させている か、多 面的・多 角的に考 察している。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度★ 近畿地方における自己 の学習の 経過を 振り返り、 学習状況 や達成度 を適切に 自己評価 し、今後 の学習や 生活に生 かそうと している。</p>

第4節 中部地方—産業をテーマに—

学習指導要領の内容：C（3）

第4節の目標
<ul style="list-style-type: none"> ○「産業」を中核とした考察の仕方をもとに、様々な事象を有機的に関連付けて追究し、中部地方の地域的特色や地域の課題を理解するとともに、地図・グラフ・写真などの資料から地理的事象を効果的に調べまとめる技能を身に付ける。 ○「産業」を中核とした考察の仕方をもとに、地図・グラフ・写真などの資料を活用し、地理的な見方・考え方を働かせ、中部地方の地域的特色や地域の課題を多面的・多角的に考察したり、思考したことを説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。 ○中部地方の地域的特色について、そこでみられる地域の課題を主体的に追究、解決しようとするとともに、中部地方の学習を振り返り、自身の学習状況や達成度を適切に自己評価しようとする態度を養う。

【第4節の問い】

中部地方では、どのようにして特色のある産業が盛んになったのでしょうか。

第4節の評価規準

知識・技能

- ・「産業」を中核とした考察の仕方をもとに、地図・グラフ・写真などの資料から、中部地方の地域的特色や地域の課題を適切に読み取り、分析している。
- ・「産業」を中核とした考察の仕方をもとに、中部地方の地域的特色や地域の課題を理解し、その知識を身に付けている。

思考・判断・表現

- ・「産業」を中核とした考察の仕方をもとに、地理的な見方・考え方を働かせ、中部地方の地域的特色や地域の課題を多面的・多角的に考察している。
- ・「産業」を中核とした考察の仕方をもとに、中部地方の地域的特色や地域の課題を考察した過程や結果を図や文章などに適切に表現し、それらをもとに議論している。

主体的に学習に取り組む態度

- ・中部地方を大観し節の問いを立てる活動を通して、中部地方の学習について見通しをもって取り組もうとしている。
- ・中部地方の学習を振り返りながら自身の学習状況や達成度を適切に自己評価し、中部地方の地域的特色や地域の課題を主体的に追究、解決しようとしている。

※評価規準の★は「評定に用いる評価」で、それ以外は「学習改善につなげる評価」を示します。

累計時数	学習内容	学習目標	評価規準
82 83 84 85 86	写真で見る中部地方 (教科書 P. 218-219) 1 中部地方の自然環境と人々のかかわり (教科書 P. 220-221) ・「日本の屋根」のある中部地方 ・三つの地域の気候の特色	○中部地方は地形によって、東海・北陸・中央高地の三つの地域に分けられ、地域ごとに自然環境や人口の分布が異なることを理解する。 ○中部地方が、なぜ地域ごとに自然環境や人々の生活が異なっているのか、その理由を相互に関連付けて考察する。	知識・技能 中部地方の三つの地域の地形・気候の特色や人口分布の特色を理解している。 思考・判断・表現 中部地方の三つの地域の自然環境と人口分布や産業との関わりについて考察している。
	【持続可能な地域をめざして】工業と漁業が共存する「海」－愛知県の知多半島を例に－ 【節の問いを立てよう】 中部地方 (教科書 P. 222-223)	○知多半島を例に、地理的条件により様々な産業が発達することに気付くとともに、中部地方各地に様々な特色ある産業があることを理解する。 ○中部地方の地域的特色について見通しをもって学習に取り組もうとし、課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	知識・技能 中部地方には地理的条件によって様々な特色ある産業があることを理解している。 主体的に学習に取り組む態度★ 中部地方の地域的特色について、見通しをもって学習に取り組もうとし、課題を追究しようとしている。
	2 日本を支える工業の中心地、東海 (教科書 P. 224-225) ・自動車工業の盛んな東海 ・なぜ東海の工業が発展	○自動車工業を始めとして、東海ではどのような工業が盛んに行われているかを理解する。 ○東海で工業が発展した理由を、三大都市圏との位	知識・技能★ 東海ではどのような工業が盛んに行われているのか、また、自動車工業の課題にはどのようなものがあるのかを理解している。 思考・判断・表現★

<p>したのか</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動車工業の課題 	<p>置関係や交通網の整備といった地理的な利点などから考察し、適切に表現する。</p>	<p>東海で工業が盛んな理由を、三大都市圏との位置関係や輸送面での利点などから考察し、適切に表現している。</p>
<p>3 交通網の整備による中央高地の産業の変化 (教科書 P. 226-227)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地形や気候に適応した特色のある農業 中央高地の工業の変化 リゾート地としての発展 	<ul style="list-style-type: none"> ○中央高地の農業・工業・観光業は、自然環境や他地域との結び付きからどのような影響を受けているのかを理解する。 ○三大都市圏との位置関係や交通網の整備によって、農業・工業・観光業がどのように変化しているのかを考察する。 	<p>知識・技能★ 中央高地の産業の特色や発展の様子を、自然環境や他地域との結び付きと関連付けて理解している。</p> <p>思考・判断・表現 三大都市圏との位置関係や交通網の整備によって、中央高地の産業がどのように変化しているか、どのような利点や課題が生じているかを適切に考察している。</p>
<p>4 自然環境からみた北陸の農業・工業 (教科書 P. 228-229)</p> <ul style="list-style-type: none"> 稲作を発展させるための努力 地場産業・伝統産業の課題と取り組み 日本の電力を支える中部地方 	<ul style="list-style-type: none"> ○日本の電力を支える中部地方の役割について、自然環境や他地域との結び付きと関連付けて理解する。 ○北陸の農業・工業の特色を、自然環境と関連付けて考察する。 	<p>知識・技能 水力発電所や原子力発電所が中部地方に多いことやその理由、中部地方が関東地方や近畿地方への電力供給に重要な役割を果たしていることを理解している。</p> <p>思考・判断・表現 北陸の農業・工業の特色を自然環境と関連付けて考察し、その特色を適切に表現している。</p>
<p>5 消費地と結びつく農業・漁業の戦略 (教科書 P. 230-231)</p> <ul style="list-style-type: none"> 静岡県の茶の生産と消費地との結び付き 温暖な気候と交通網を生かした園芸農業 焼津港の漁業と消費地との結び付き 	<ul style="list-style-type: none"> ○東海で、特色のある農業・漁業が発展してきた理由を、自然環境や消費地との結び付き、交通網の整備と関連付けて理解する。 ○東海で特色ある農業・漁業が抱える課題に対する、現在の人々の工夫を理解するとともに、自分なりの発想で課題の解決策を考える。 	<p>知識・技能 東海で特色ある農業・漁業が発達した理由を、自然環境や地理的条件、交通網の発達と関連付けて理解している。</p> <p>思考・判断・表現★ 東海で特色のある農業・漁業が抱える課題に対して、これまでの学習をふまえて自分なりに解決策を考えている。</p>
<p>【まとめと振り返り】中部地方の学習をまとめよう (教科書 P. 232-233)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○中部地方では、どのようにして特色ある産業が盛んになったのか、様々な地理的条件を関連付けて考察し、適切に表現する。 ○単元全体の自己の学習を振り返り、学習状況や達成度を適切に自己評価し、今後の学習や生活に生かそうとする。 	<p>思考・判断・表現 中部地方に特色ある産業が盛んになった理由を、自然環境、人口、歴史的背景、交通・通信などを関連付けて考察し、適切に表現している。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度★ 中部地方における自己の学習の経過を振り返り、学習状況や達成度を適切に自己評価し、今後の学習や生活に生かそうとしている。</p>

第5節の目標

- 「人口や都市・村落」を中核とした考察の仕方をもとに、様々な事象を有機的に関連付けて追究し、関東地方の地域的特色や地域の課題を理解するとともに、地図・グラフ・写真などの資料から地理的事象を効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
- 「人口や都市・村落」を中核とした考察の仕方をもとに、地図・グラフ・写真などの資料を活用し、地理的な見方・考え方を働かせ、関東地方の地域的特色や地域の課題を多面的・多角的に考察したり、思考したことを説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。
- 関東地方の地域的特色について、そこでみられる地域の課題を主体的に追究、解決しようとするとともに、関東地方の学習を振り返り、自身の学習状況や達成度を適切に自己評価しようとする態度を養う。

【第5節の問い】

関東地方の人口分布にはどのような特色があり、何が課題になっているのでしょうか。

第5節の評価規準

知識・技能

- ・「人口や都市・村落」を中核とした考察の仕方をもとに、地図・グラフ・写真などの資料から、関東地方の地域的特色や地域の課題を適切に読み取り、分析している。
- ・「人口や都市・村落」を中核とした考察の仕方をもとに、関東地方の地域的特色や地域の課題を理解し、その知識を身に付けている。

思考・判断・表現

- ・「人口や都市・村落」を中核とした考察の仕方をもとに、地理的な見方・考え方を働かせ、関東地方の地域的特色や地域の課題を多面的・多角的に考察している。
- ・「人口や都市・村落」を中核とした考察の仕方をもとに、関東地方の地域的特色や地域の課題を考察した過程や結果を図や文章などに適切に表現し、それらをもとに議論している。

主体的に学習に取り組む態度

- ・関東地方を大観し節の問いを立てる活動を通して、関東地方の学習について見通しをもって取り組もうとしている。
- ・関東地方の学習を振り返りながら自身の学習状況や達成度を適切に自己評価し、関東地方の地域的特色や地域の課題を主体的に追究、解決しようとしている。

※評価規準の★は「評定に用いる評価」で、それ以外は「学習改善につなげる評価」を示します。

累計時数	学習内容	学習目標	評価規準
87 88 89 90 91	写真で見る関東地方 (教科書 P. 234-235) 1 関東地方の自然環境と人々のかかわり (教科書 P. 236-237) ・関東地方の地形と気候 ・人々の活動が影響している自然環境	○関東地方の地形や気候、人口の分布、土地利用などを調べることで、関東地方の自然環境・人文環境における地域的特色を理解する。 ○雨温図などの資料から関東地方の地域的特色をつかんだり、地図から関東地方の位置や範囲、構成する県をとらえたりする。	知識・技能 関東地方の県の名称と位置、県庁所在地名などの知識を習得し、関東地方の自然環境・人文環境における地域的特色を理解している。 思考・判断・表現 関東地方に関する地図・写真・グラフなどの資料をもとに、関東地方の自然環境・人文環境における地域的特色を考察している。
	【持続可能な地域をめざして】ニュータウンの課題と再生をめざす取り組み—多摩ニュータウンを例に— 【節の問いを立てよう】 関東地方 (教科書 P. 238-239)	○資料やインタビューをもとに多摩ニュータウンの概要を知り、ニュータウンの整備と変遷について、人口の視点をもって理解する。 ○関東地方の地域的特色に	知識・技能 高度経済成長期に急激に増加した人口のためにニュータウンが作られたが、その後に少子高齢化が進み様々な対策がなされたことについて理解を深めている。 主体的に学習に取り組む態度★

	<p>ついて見通しをもって学習に取り組もうとし、課題を主体的に追究・解決しようとする態度を養う。</p>	<p>関東地方の地域的特色について、見通しをもって学習に取り組もうとし、課題を追究しようとしている。</p>
<p>2 東京大都市圏に集まる人口と人々の暮らし (教科書 P. 240-241)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京の都心と副都心 ・郊外の住宅地の広がり ・過密化の課題 ・交通網の変化で一体化する東京大都市圏 	<ul style="list-style-type: none"> ○資料などから、東京大都市圏を構成している近隣の県どうしの結びつきや、都市の課題を読み取る。 ○東京大都市圏の都市構造を、都心と郊外の結びつきや、都心・郊外それぞれの役割から考える。 	<p>知識・技能★ 資料などをもとに、都心と郊外との結びつきや都市における様々な課題を理解している。</p> <p>思考・判断・表現★ 都心と郊外の結びつきや、そこから生じる都市における様々な課題について多面的・多角的に考察し、それらをまとめて文章などで表現している。</p>
<p>3 東京に集まる人々と情報 (教科書 P. 242-243)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の首都・東京 ・世界都市・東京 ・情報社会がもたらす新しい暮らし 	<ul style="list-style-type: none"> ○通信網の発達によって情報化が進展し、新しい情報社会を迎えていることを理解する。 ○日本の首都として、また、世界都市としても、政治、経済、文化の様々な機能が集中していることについて考える。 	<p>知識・技能★ 地図やグラフなどの資料をもとに、東京の機能や役割などを理解している。</p> <p>思考・判断・表現★ 東京の一極集中の原因とその問題点について多面的・多角的に考え、今後の課題について表現している。</p>
<p>4 大都市圏を支える周辺地域と人々の暮らし (教科書 P. 244-245)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨海部から内陸部へ広がる工業地域 ・大消費地を支える関東地方の農業 	<ul style="list-style-type: none"> ○関東地方で工業と農業が盛んな理由を、自然環境との関わりや他地域との結びつきの側面から考えて理解する。 ○関東地方の工業・農業の特色をとらえ、流通からみる他地域との結びつきの面から生産地と消費地の関係性を説明する。 	<p>知識・技能 様々な資料をもとに、関東地方で工業や農業が盛んな理由を、自然環境や他地域との結びつきの視点から理解している。</p> <p>思考・判断・表現 関東地方の工業や農業について、東京大都市圏や他地域との結びつきの面からとらえ、その関係性について考え、説明している。</p>
<p>5 持続可能な都市づくりに向けて (教科書 P. 246-247)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過密化による課題への取り組み ・防災面での課題への取り組み ・都市機能を分散させる取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ○過密化への対策について、限られた土地を有効に活用する再開発などの対策が進められていることを理解する。 ○首都直下型地震などにより東京で大きな災害が発生することを想定し、どのような防災対策をしておくかを考え、説明する。 	<p>知識・技能 限られた土地を有効活用するためにどのような取り組みがされているのか、事例をもとに理解している。</p> <p>思考・判断・表現 防災対策について実際に起こりうる首都直下型地震を想定して考え、その対策を具体的に説明している。</p>
<p>【まとめとふり返り】関東地方の学習をまとめよう (教科書 P. 248-249)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○関東地方の自然環境や人文環境を振り返り、東京への一極集中について多面的・多角的に考察する。 ○単元全体の自己の学習を振り返り、学習状況や達 	<p>思考・判断・表現 自己の立てた問いに取り組むことを通して、関東地方の人口分布の特色や課題について考え、表現している。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度★ 関東地方における自己の学習の経</p>

	成度を適切に自己評価し、今後の学習や生活に生かそうとする。	過を振り返り、学習状況や達成度を適切に自己評価している。
--	-------------------------------	------------------------------

第6節 東北地方ー持続可能な社会づくりをテーマにー

学習指導要領の内容：C（3）

第6節の目標	
<p>○「持続可能な社会づくり」を中核とした考察の仕方をもとに、様々な事象を有機的に関連付けて追究し、東北地方の地域的特色や地域の課題を理解するとともに、地図・グラフ・写真などの資料から地理的事象を効果的に調べまとめる技能を身に付ける。</p> <p>○「持続可能な社会づくり」を中核とした考察の仕方をもとに、地図・グラフ・写真などの資料を活用し、地理的な見方・考え方を働かせ、東北地方の地域的特色や地域の課題を多面的・多角的に考察したり、思考したことを説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。</p> <p>○東北地方の地域的特色について、そこでみられる地域の課題を主体的に追究、解決しようとするとともに、東北地方の学習を振り返り、自身の学習状況や達成度を適切に自己評価しようとする態度を養う。</p> <p>【第6節の問い】 東北地方の人々は、どのようにして持続可能な社会をつくらうとしているのでしょうか。</p>	
第6節の評価規準	<p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「持続可能な社会づくり」を中核とした考察の仕方をもとに、地図・グラフ・写真などの資料から、東北地方の地域的特色や地域の課題を適切に読み取り、分析している。 ・「持続可能な社会づくり」を中核とした考察の仕方をもとに、東北地方の地域的特色や地域の課題を理解し、その知識を身に付けている。
	<p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「持続可能な社会づくり」を中核とした考察の仕方をもとに、地理的な見方・考え方を働かせ、東北地方の地域的特色や地域の課題を多面的・多角的に考察している。 ・「持続可能な社会づくり」を中核とした考察の仕方をもとに、東北地方の地域的特色や地域の課題を考察した過程や結果を図や文章などに適切に表現し、それらをもとに議論している。
	<p>主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東北地方を大観し節の問いを立てる活動を通して、東北地方の学習について見通しをもって取り組もうとしている。 ・東北地方の学習を振り返りながら自身の学習状況や達成度を適切に自己評価し、東北地方の地域的特色や地域の課題を主体的に追究、解決しようとしている。

※評価規準の★は「評定に用いる評価」で、それ以外は「学習改善につなげる評価」を示します。

累計時数	学習内容	学習目標	評価規準
92 93 94 95 96	<p>写真で見る東北地方 (教科書 P. 250-251)</p> <p>1 東北地方の自然環境と人々のかかわり (教科書 P. 252-253)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南北にのびる山地と平地 ・日本海側と太平洋側で異なる気候 ・地形や気候を生かした人々の生活 	<p>○東北地方の自然環境は、日本海側、内陸部、太平洋側の三つに大別でき、三つの地域で人々の生活も異なっていることを理解する。</p> <p>○日本海側と太平洋側で、気候が大きく異なる理由を考え、表現する。</p>	<p>知識・技能 東北地方の地形の特色を、三つの山地を中心に、川や平地、海岸線との関係からとらえ、理解している。</p> <p>思考・判断・表現 東北地方の日本海側と太平洋側の気候の違いを、地形図や雨温図、写真などの資料から読み取り、適切に表現している。</p>
	<p>【持続可能な地域をめざして】復興の先をみすえてー東北地方の太平洋沿岸を例にー</p>	<p>○東日本大震災後の東北地方の復興の取り組みについて、資料やグラフを読み取って考察し、理解する。</p>	<p>思考・判断・表現 東北地方の人々が、震災からの復興を通して持続可能な社会づくりに取り組んでいるのかという節の問い</p>

<p>【節の問いを立てよう】 東北地方 (教科書 P. 254-255)</p>	<p>○東北地方の地域的特色について見通しをもって学習に取り組み、課題を主体的に追究、解決する態度を養う。</p>	<p>を解決するための問いを設定している。 主体的に学習に取り組む態度★ 東北地方の地域的特色について、見通しをもって学習に取り組み、課題を追究している。</p>
<p>2 農業をとりまく環境の変化と農家の対応 (教科書 P. 256-257)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東北地方の農業 ・米余りと農産物輸入の増加 ・新たな農業をめざす人々の取り組み 	<p>○減反政策と農産物の貿易自由化が、東北地方の農業に与えた影響を理解する。</p> <p>○新たな農業をめざす人々の取り組みを、国内外の社会の動きと関連付けて考え、表現する。</p>	<p>知識・技能 減反政策と、農産物の自由化が与える東北地方の農業への影響を理解する。</p> <p>思考・判断・表現★ 新たな農業をめざす人々の取り組みを、国内外の社会の動きと関連付けながら、多面的・多角的に考察している。</p>
<p>3 伝統文化の維持と革新 (教科書 P. 258-259)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多彩な祭りや年中行事 ・伝統文化を維持する取り組みと観光化 ・伝統産業にみられる新たな取り組み 	<p>○気候や生活に密着した多彩な東北地方の伝統文化を守るための様々な取り組みについて理解する。</p> <p>○東北地方における祭りや年中行事の観光化や、伝統工業で新たな製品が生み出されている理由について、他地域との結びつきから考える。</p>	<p>知識・技能 東北地方の古くから続く祭りや伝統的な街なみを守るための取り組みを理解している。</p> <p>思考・判断・表現 東北地方の伝統的工芸品を維持・発展させるための対応を他地域との結びつきから考察し、自分の言葉で説明している。</p>
<p>4 東日本大震災にともなう社会の変化 (教科書 P. 260-261)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・震災がもたらした急激な人口の変化 ・震災で大きな影響を受けた農業・漁業 ・震災で世界にまで影響がおよんだ工業 	<p>○東日本大震災が東北地方の人口や産業にどのような影響を与えたか理解する。</p> <p>○グラフなどから東北地方の産業の影響が世界中に広がっていたことを考え、表現できる。</p>	<p>知識・技能★ 東日本大震災が与えた東北地方の人口や産業への影響を理解している。</p> <p>思考・判断・表現 グラフなどから東北地方の産業の影響が世界中に広がっていたことを考え、表現している。</p>
<p>5 震災からの復興と災害に強い地域づくり (教科書 P. 262-263)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・震災を伝承していく取り組み ・災害に強い地域づくりをめざして 	<p>○震災復興だけに留まらない、東北地方各地の新たな地域づくりの取り組みについて考察し、説明する。</p> <p>○教訓や伝承が、持続可能な社会づくりのうえで重要であることに気付き、それぞれの取り組みの意義について追究する。</p>	<p>知識・技能★ 過去の災害の伝承や東日本大震災の被害の未来への伝承について、その重要性を理解している。</p> <p>思考・判断・表現★ 東北地方の人々が思い描く新しい地域の姿を、震災後の取り組みと関連させながら、多面的・多角的に考察している。</p>
<p>【まとめとふり返り】 東北地方の学習をまとめよう (教科書 P. 264-265)</p>	<p>○東北地方にみられる地域の特色を整理し、なぜそのような特色が生じているのか理由や疑問点を考える。</p> <p>○単元全体の自己の学習を</p>	<p>思考・判断・表現 東北地方にみられる地域の特色を持続可能な社会づくりの観点から多面的・多角的にとらえて整理し、なぜそのような取り組みをしているのかについて理由や疑問点を考えている。</p>

	振り返り、学習状況や達成度を適切に自己評価し、今後の学習や生活に生かそうとする。	主体的に学習に取り組む態度★ 東北地方における自己の学習の経過を振り返り、学習状況や達成度を適切に自己評価し、今後の学習や生活に生かそうとしている。
--	--	--

第7節 北海道地方－自然環境をテーマに－

学習指導要領の内容：C（3）

第7節の目標	
<p>○「自然環境」を中核とした考察の仕方をもとに、様々な事象を有機的に関連付けて追究し、北海道地方の地域的特色や地域の課題を理解するとともに、地図・グラフ・写真などの資料から地理的事象を効果的に調べまとめる技能を身に付ける。</p> <p>○「自然環境」を中核とした考察の仕方をもとに、地図・グラフ・写真などの資料を活用し、地理的な見方・考え方を働かせ、北海道地方の地域的特色や地域の課題を多面的・多角的に考察したり、思考したことを説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。</p> <p>○北海道地方の地域的特色について、そこでみられる地域の課題を主体的に追究、解決しようとするとともに、北海道地方の学習を振り返り、自身の学習状況や達成度を適切に自己評価しようとする態度を養う。</p> <p>【第7節の問い】 自然環境から影響を受けている北海道地方の人々の生活や産業には、どのような課題があるのでしょうか。</p>	
第7節の評価規準	<p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自然環境」を中核とした考察の仕方をもとに、地図・グラフ・写真などの資料から、北海道地方の地域的特色や地域の課題を適切に読み取り、分析している。 ・「自然環境」を中核とした考察の仕方をもとに、北海道地方の地域的特色や地域の課題を理解し、その知識を身に付けている。 <p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自然環境」を中核とした考察の仕方をもとに、地理的な見方・考え方を働かせ、北海道地方の地域的特色や地域の課題を多面的・多角的に考察している。 ・「自然環境」を中核とした考察の仕方をもとに、北海道地方の地域的特色や地域の課題を考察した過程や結果を図や文章などに適切に表現し、それらをもとに議論している。 <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道地方を大観し節の問いを立てる活動を通して、北海道地方の学習について見通しをもって取り組もうとしている。 ・北海道地方の学習を振り返りながら自身の学習状況や達成度を適切に自己評価し、北海道地方の地域的特色や地域の課題を主体的に追究、解決しようとしている。

※評価規準の★は「評定に用いる評価」で、それ以外は「学習改善につなげる評価」を示します。

累計時数	学習内容	学習目標	評価規準
97 98 99 100 101	<p>写真で見る北海道地方 (教科書 P. 266-267)</p> <p>1 北海道地方の自然環境と人々のかかわり (教科書 P. 268-269)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北の広大な大地 ・寒さがきびしい冬と比較的過ごしやすい夏 ・広大な大地と人口分布 	<p>○北海道地方の地形や気候、人口分布の特色について資料から読み取り、自然環境と人口分布について関連付けて考察し、理解する。</p> <p>○景観写真を読み取り、北海道ではどのような産業が行われているのか、また、どのような生活をしているのか、自然環境と関連付けて考える。</p>	<p>知識・技能★ 北海道地方の地形や気候、人口分布の特色について資料から読み取り、自然環境と人口分布について関連付けて考察し、理解している。</p> <p>思考・判断・表現 札幌市（日本海側）と釧路市（太平洋側）の気候の違いを、夏・冬に分けて説明している。</p>

<p>【持続可能な地域をめざして】未来をみすえた農業・漁業の取り組み－えりも・十勝を例に－</p> <p>【節の問いを立てよう】北海道地方 (教科書 P. 270-271)</p>	<p>○北海道地方の自然環境から影響を受けている人々の生活や産業の課題について、資料やグラフを読み取って考察し、理解する。</p> <p>○北海道地方の地域的特色について見通しをもって学習に取り組み、課題を主体的に追究、解決する態度を養う。</p>	<p>思考・判断・表現 北海道地方の自然環境から影響を受けている人々の生活や産業の課題について、節の問いを解決するための問いを設定している。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度★ 北海道地方の地域的特色について、見通しをもって学習に取り組み、課題を追究している。</p>
<p>2 寒冷な気候に対応した人々の生活 (教科書 P. 272-273)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の北海道の冬の生活 ・札幌市の発展 	<p>○景観写真を読み取り、北海道地方の人々は、雪や寒さといった自然環境を克服するために、どのような工夫をしているか理解する。</p> <p>○雪に備えるだけでなく、雪をどのように人々の生活に利用しているのか、具体的な事例を通して多面的・多角的に考察し、表現する。</p>	<p>知識・技能 北海道地方という雪の多い地域においてどのような工夫をして生活しているのか、他地域と比較しながら読み取り、理解している。</p> <p>思考・判断・表現 雪に備えるだけでなく、雪をどのように人々の生活に利用しているのか、具体的な事例から多面的・多角的に考察し、表現している。</p>
<p>3 きびしい自然環境を克服した農業 (教科書 P. 274-275)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境を克服してきた稲作・畑作 ・酪農の発展と輸送手段の進歩 ・食の安全への対応 	<p>○北海道地方の農業の特色を、気温の低さや霧の多さといった気候の特色や、火山灰地や泥炭地といった土壌の特色と関連付けて理解する。</p> <p>○北海道地方の農業の課題に対応するため、どのような取り組みが行われているのか説明する。</p>	<p>知識・技能★ 北海道地方の各地で、厳しい自然環境を克服しながらどのように稲作、畑作、酪農が行われているのかを理解している。</p> <p>思考・判断・表現 価格の安い輸入農産物に対抗するためにどのような取り組みが行われているのか、これまでの学習内容を生かし、まとめている。</p>
<p>4 自然環境を生かした観光とその影響 (教科書 P. 276-277)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬の寒さを生かした観光 ・観光による地域の活性化 ・北海道の観光や交通の課題 	<p>○雄大な自然や寒冷な気候といった北海道地方の自然環境を生かした観光資源には、どのようなものがあるのか理解する。</p> <p>○北海道地方の観光による地域の活性化と、それに伴って生じる課題について考える。</p>	<p>知識・技能 これまでの学習を生かしながら、北海道地方の自然環境を生かした観光資源について理解している。</p> <p>思考・判断・表現 観光業が盛んになることのプラス面とマイナス面について、地域の活性化と自然環境の保全の両面から考えている。</p>
<p>5 自然環境との共生をはかるために (教科書 P. 278-279)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイヌの人々から学ぶ自然環境との共生 ・自然環境と観光の共生 	<p>○アイヌの人々が、どのように自然環境と共生してきたかを理解する。</p> <p>○北海道地方の観光業を例に、自然環境と人々の共生の方法について考える。</p>	<p>知識・技能 アイヌの人々が、どのような考えで自然環境と共生してきたのか理解している。</p> <p>思考・判断・表現★ 自然環境と人々の共生について、身近な地域では何ができるのか、グループで話し合い、自分の考えを表現している。</p>

<p>【まとめとふり返り】北海道地方の学習をまとめよう (教科書 P. 280-281)</p>	<p>○北海道にみられる地域の特色を自然環境と共生の観点から整理し、なぜ、そのような特色が生じているのか理由や疑問点を考える。</p> <p>○単元全体の自己の学習を振り返り、学習状況や達成度を適切に自己評価し、今後の学習や生活に生かそうとする。</p>	<p>思考・判断・表現★ 北海道にみられる地域の特色を自然環境と共生の観点から多面的・多角的にとらえて整理し、なぜ、そのような特色が生じているのかについて理由や疑問点を考えている。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度★ 北海道地方における自己の学習の経過を振り返り、学習状況や達成度を適切に自己評価し、今後の学習や生活に生かそうとしている。</p>
--	---	---

第4章 地域の在り方—宮崎市を例に—

学習指導要領の内容：C（4）

第4章の目標	
	<p>○地域の特色や課題の解決に向けて考察、構想したことを適切に説明、議論しまとめる手法を身に付け、地域の実態や課題の要因を理解する。</p> <p>○他地域との結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目し、地域でみられる課題についての解決策を、他地域と比較したり、様々な人の立場に立ったりして、地域の在り方を多面的・多角的に考察・構想し、表現する。</p> <p>○地域の在り方を意欲的に追究し、地域の課題を主体的に追究、解決しようとするとともに、第3編第4章の学習を振り返り、自身の学習状況や達成度を適切に自己評価しようとする態度を養う。</p> <p>【第3編第4章の問い】 地域でみつけた課題を解決し、より良い地域をつくるためには、どうすればよいのでしょうか。</p>
<p>第4章の評価規準</p>	<p>知識・技能 ・地域の課題の解決に向けて考察・構想したことを適切に説明、議論しまとめる手法について理解し、資料などから読み取りまとめる活動などを通して、地域の課題にまつわる特色を理解している。</p> <p>思考・判断・表現 ・地域の在り方を、他地域との結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目し、地域でみられる課題についての解決策を、他地域と比較したり、様々な人の立場に立ったりして、多面的・多角的に考察・構想し、表現している。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度 ・考察・構想するテーマを決める活動を通して、地域の在り方の学習について見通しをもって取り組もうとしている。</p> <p>・地域の在り方の学習を振り返りながら自身の学習状況や達成度を適切に自己評価し、地域の課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>

※評価規準の★は「評定に用いる評価」で、それ以外は「学習改善につなげる評価」を示します。

累計時数	学習内容	学習目標	評価規準
<p>105 106 107 108 109</p>	<p>【学習のはじめに】地域をより良くするためにはどうすればよいのだろう (教科書 P. 282-283)</p>	<p>○これまで学習した内容と関連付けて、地域の魅力を共有する。</p> <p>○地域に住む住民として当事者意識をもち、「より良い地域づくり」の協議に主体的に参加する。</p>	<p>思考・判断・表現 これまで学習した内容と関連付けて、地域の魅力を共有している。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度★ 地域に住む住民として「より良い地域づくり」の協議に主体的に参加しようとしている。</p>

<p>1 考察・構想するテーマを決めよう (教科書 P. 284-285)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会づくりを意識する ・多面的・多角的に考察・構想する 	<ul style="list-style-type: none"> ○これまでの学習をふまえて、自分の住む地域にどのような魅力と課題があるか理解する。 ○より良い地域をつくるために、持続可能な開発目標を意識し、課題の追究にむけて多面的・多角的に考察している。 	<p>知識・技能 これまでの学習をふまえて、自分の住む地域の魅力や課題を理解している。</p> <p>思考・判断・表現★ より良い地域をつくるために、持続可能な開発目標を意識し、多面的・多角的に考察している。</p>
<p>2 地域の課題の解決策を考察しよう (教科書 P. 286-287)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の課題の解決策を考える ・課題の解決につながる取り組みを調べる 	<ul style="list-style-type: none"> ○日本各地で進められている地域の課題解決の取り組みや、自分の住む地域で行われている取り組みを理解する。 ○地域の魅力を生かした地域活性化に向けて、これまでの学習で学んだことをもとに有効な方法を選択し、計画を立案する。 	<p>知識・技能 日本各地で進められている地域の課題解決の取り組みや、自分の住む地域で行われている取り組みを理解している。</p> <p>思考・判断・表現 地域の魅力を生かした地域活性化に向けて、これまでの学習で学んだことをもとに有効な方法を選択し、計画を立案している。</p>
<p>3 情報を集めて構想しよう (教科書 P. 288-289)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の在り方を構想する情報を集める ・情報を共有して構想する 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の住む地域や比較する他地域について、人々がどのような点に魅力を感じているか、どのような課題があるかを理解する。 ○地域の在り方を構想するために必要な情報を集めて共有し、地域の将来像をより良いものにするための取り組みをおおまかに構想している。 	<p>知識・技能 聞き取り調査や文献調査の結果を整理し、自分の住む地域や比較する地域の魅力や課題について理解している。</p> <p>思考・判断・表現 それぞれのグループが集めた情報を共有して分析し、地域の将来像をより良いものにするためにはどのような取り組みを構想すればよいか、話し合っている。</p>
<p>4 構想した内容を整理してまとめよう (教科書 P. 290-291)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構想した内容をまとめる ・提案を地域に発信する 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の課題を解決したり魅力を高めたりする提案を、根拠を整理したり「未来予想図」や「未来地図」を作成するなど工夫してまとめる。 ○自分たちの提案を発信する「未来創造会議」の運営計画やタイムテーブルなどを考え、準備をする。 	<p>知識・技能 地域の課題を解決するためのプランを考察する際に、前時までの調査や構想内容を正しく理解している。</p> <p>思考・判断・表現★ プランについて、前時までの調査や構想を根拠として考えたり工夫したりしながら、適切にまとめている。</p>
<p>【まとめとふり返し】構想した内容を発信しよう (教科書 P. 292)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○よりよい地域の将来像を自分ごととしてとらえ、構想したプランを表現し、議論する。 ○単元全体の自己の学習を振り返り、学習状況や達成度を適切に自己評価し、今後の学習や生活に生かそうとする。 	<p>思考・判断・表現★ 構想したプランをわかりやすく表現し、議論している。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度★ 地域の在り方における自己の学習の経過を振り返り、学習状況や達成度を適切に自己評価し、今後の学習や生活に生かそうとしている。</p>

MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing.

